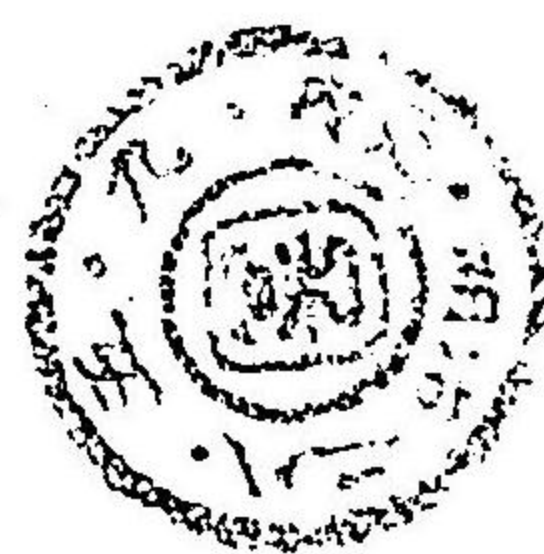


特20
421

新撰
並目通日本地理

服部捨太郎編



發行積善館

凡例

本書編纂ノ目的ハ主トシテ中等教育ノ初步ニ
アル學生ノ教科用ニ供スルニアリ故ニ本書ハ
務メテ通俗平易ノ文態ヲ用非以テ彼ノ徒ラニ
文字ノ莊麗ヲ欲シ學生ヲシテ爲メニ了解ニ苦
マシムルノ弊ヲ避ケ、又猥ニ多數ノ事實ヲ列舉
シテ多岐茫洋ノ嘆ナカラシメンカ爲メ專ラ骨
髓根本タル可キ大要ヲ舉示シ以テ初學生ヲシ
テ斯學ノ概念ヲ精確ニ得知セシムルヲ期セリ
然レモ教授ノ際之レニ興味ヲ添へ枝葉ヲ附加
シ自在ニ講述敷衍シテ學生學力ノ程度ニ適應

凡

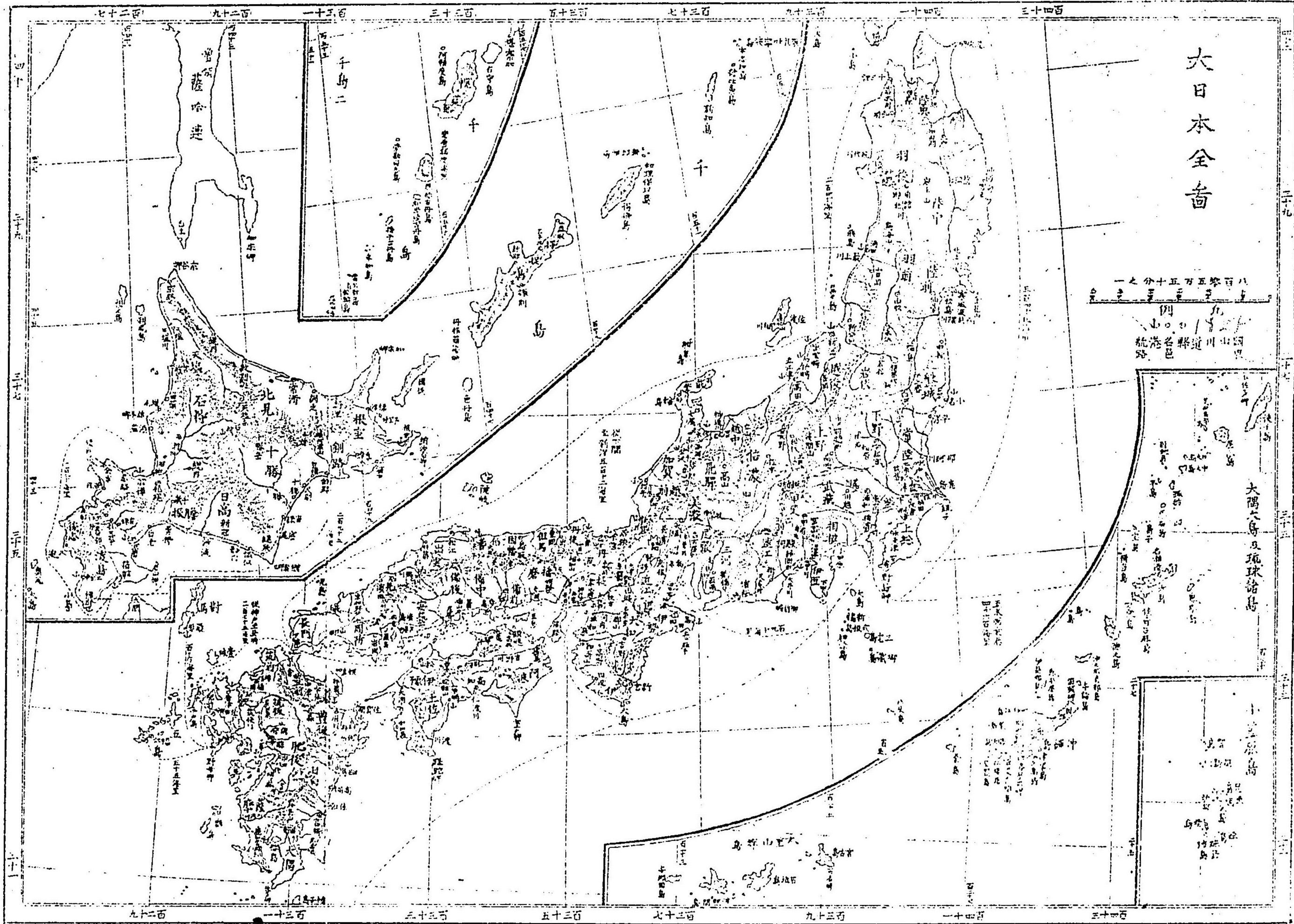
例

(一)

セシムルカ如キニ至テハ教師其人ノ運用如何
ニ一任センノミ
又初學ノ地理教授ハ唯ニ教師ノ叙述ニ止メズ
時々學生ヲシテ教師ノ質問ニ答ヘシメ以テ其
記憶ヲ喚起シ併セテ其思想ノ開發ヲ企圖スル
ヲ要ス因テ本書ハ其時間一二對スル講述時間
二ノ割合ヲ以テ教授時間(一學年間每週一時)ニ
過不足ナカラシメンコトヲ勉メタリ
終ニ臨テ本書編纂中緊要ナル助言ヲ與ヘラレ
タル先進併ニ學友諸君ノ好意ヲ感謝スト云爾

明治二十八年四月

編者識



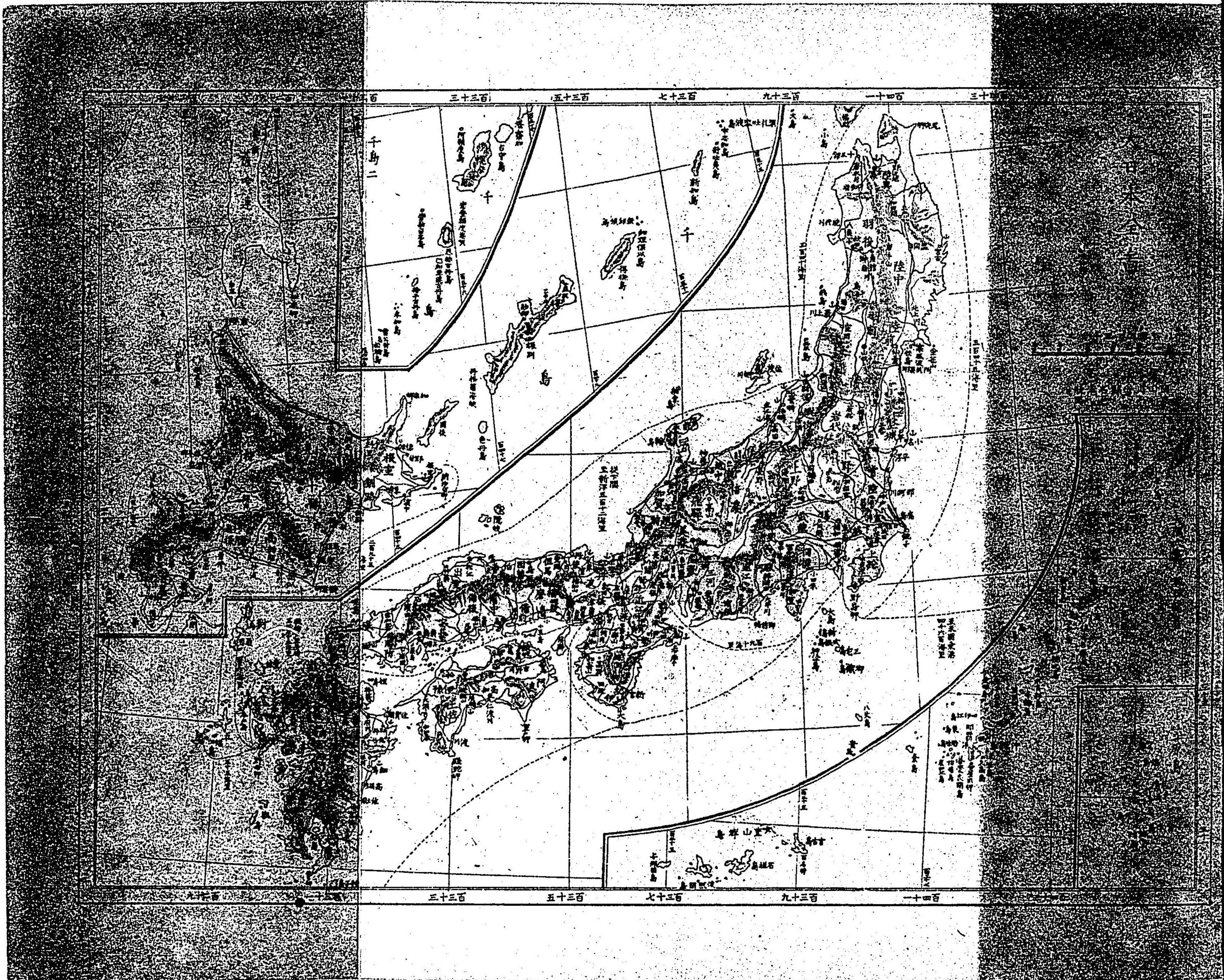
大日本全畜

一之分十五万五零百八

四九
山 川 道 縣 港 名 路 邑

大隅大島及琉球諸島

小笠原諸島



新撰 普通日本地理目次

總論	一
畿內	一七
東海道	二五
東山道	四〇
北陸道	五二
山陰道及山陽道	五九
南海道	六七
西海道	七三
北海道	八一

頁數

附錄 (統計表)

(二) 普通日本地理

本邦面積	八九
本邦人口	九〇
本邦建置	九一
本邦高山	九二
本邦大河	九九
本邦湖沼	一〇二
各地方温度	一〇三
各地方雨雪量	一〇六
各地方時差	一一〇

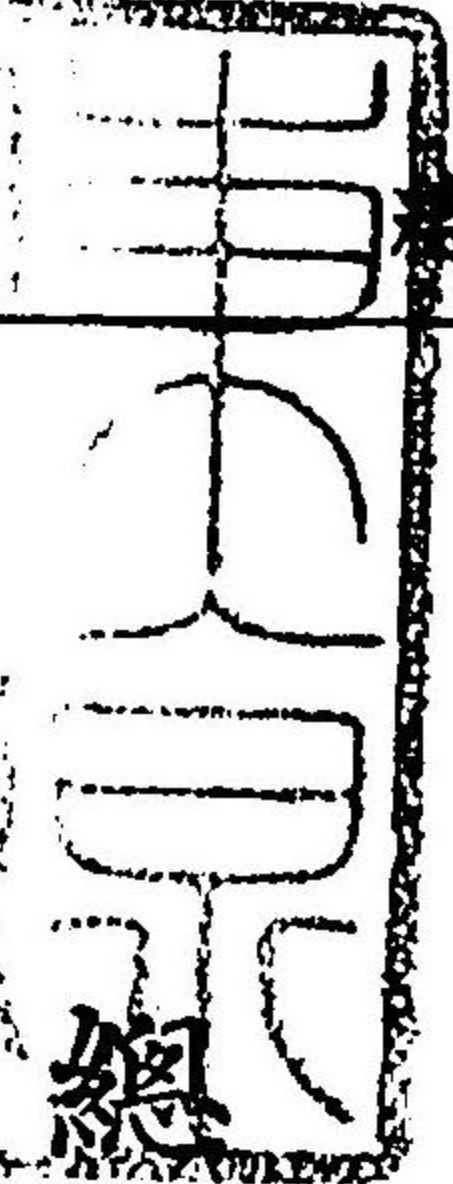
(三) 次 目

東京ヨリ各府縣ニ到ル里程	一一二
内國諸港間航路里程	一一六
外國諸港ニ到ル航路里程	一二六
陸軍師管區	一二八
海軍區	一二九

目次終

新撰 普通日本地理

服部捨太郎編



總論

(一) 論

萬世一系ナル皇統連綿トシテ、天壤ト共ニ窮ナ
 キ、我大日本帝國ハ、亞細亞州ノ東邊ニ位シ、斜ニ
 西南ヨリ東北ニ連亘ス、四方ハ環ラスニ海ヲ以
 テシ、北ハオコツク海ヲ隔テ、魯領西比利亞ニ
 對シ、西ハ日本海、黃海ヲ抱テ、西比利亞、朝鮮及ビ
 支那ニ隣リシ、南ハ琉球群島ヲ以テ臺灣ニ連リ、

東ハ渺茫タル大平洋ニ臨ミ遙ニ北亞米利加ト相對ス、全國ノ長サ凡一千餘里、巾三十里乃至六十里ニ出入シ、首尾全ク北溫帶ニ位シ、四千餘萬ノ民衆、皆忠君愛國ノ志想ニ富ミ、風光ノ美、美術ノ巧、皆宇内ニ冠タリ

全國ノ面積凡二萬四千七百九十四方里アリ、四大島以下無慮一千有餘ノ島嶼ヨリナル

帝國ノ四端

最東 占守島(東經百五十六度三十二分)

最西 與那國島(東經百二十二度四十五分)

最南 硫黃島(北緯二十四度)

最北 阿賴戶島(北緯五十度五十六分)

地勢 本邦ハ斜ニ西南ヨリ東北ニ向テ灣曲シ、

恰モ弓形ヲナス、之レ全ク其土ヲ構成スル二大

山脈(支那山系、樺太山系)ノ方向ニ基ク者ニシテ、

此兩山脈相會スル所ハ、即チ本州ノ幅員最モ廣

ク山岳重疊シテ、地勢最モ高峻ナル地方ナリ

此兩山脈ト交叉スル大火山脈三ツアリ、其琉球

ヨリ起テ九州ニ連ナル者ヲ霧島帶ト云ヒ、豆南

諸島ヨリ伊豆ニ入り、本州ヲ横斷スル者ヲ富士

帶ト云ヒ、千島諸島ヨリ北海道ヲ貫ク者ヲ千島

帶ト云フ

本邦ノ國土ハ此二大山系、三大火山脈蜿蜒シテ
山岳重疊シ、大ナル高原平野ナシ、僅ニ高原ト稱
スベキハ四國、紀伊、大和ノ山地、美濃ノ高地等ナ
リ、平野ノ最大ナル者ハ關原ノ平野(面積九七七
方里)ニシテ、濃尾ノ平野(一〇二)之レニ次キ、其他
石狩ノ平野、淀川ノ平野、奥ノ平野、筑後川ノ平野
等ヲ有名ナル者トス
山河 本邦ハ山岳多シト雖モ、雪線以上ニ達ス
ル高山ナシ、然レモ火山ニ富ミ有名ナル山岳少
カラズ、就中富士山ハ本邦一ノ最高ナル名山ニ
シテ、其他御岳、白山、鳥海山、淺間山、阿蘇山、霧島山

等、其名高シ
山岳ニ富ミ雨量多キヲ以テ水流多シト雖モ、土
地狹小ナルヲ以テ長流大河ナク、延長百里ヲ超
ユル者僅ニ石狩川、信濃川アルノミニシテ、其他、
利根川、北上川、阿武隈川、吉野川、筑後川等之レニ
次テ有名ナリ
湖沼 非常ニ洪大ナル湖沼ナク、其重ナル者ハ
皆本州北海道ノ内ニアリ、本邦第一ノ大湖ナル
琵琶湖ヲ始メ、其周回十里以上ノ者、僅ニ十二三
ニ過キズ
鑛泉 本邦ハ火山多ク從テ非常ニ鑛泉ニ(冷泉

温泉共三(三)富メリ、伊豆半島、東山道地方、日本海沿岸、北海道ノ西部、九州ニ其數特ニ多ク、其總數一千有餘アリ、中ニ就テ硫黃泉最モ多ク、鹽泉鹽類泉之レニ次グ
地震 本邦ハ世界中、有名ナル地震ノ頻繁ナル邦國ニシテ、就中、富士帶地方、大平洋ニ面スル本州ノ東半部、及ヒ濃尾ノ平野ヲ以テ然リトス
海岸 海岸ハ變曲甚シキヲ以テ海岸線頗ル多ク、本州ニ在テハ、大平洋沿岸屈折最モ多ク、海岸線千二百十一里ニ及ビ、日本海沿岸(六五一里)ニ二倍シ、特ニ南海岸ハ良港灣ニ富メリ、然レモ、日

本海沿岸ハ屈曲少ク、若狹灣富山灣ヲ除クノ外、著名ナル海灣一モナク良港ニ乏シ
九州ハ全國中、最モ岬角港灣多キ所ニシテ、特ニ西北岸ヲ以テ甚シトス、然シ其東岸及ヒ四國ノ南岸ハ共ニ海岸單一ナリ、
北海道ハ石狩ノ平野ノ西部ハ港灣多シト雖モ、東岸ハ港灣ト稱ス可キ者、僅カ一二ニ過キズ
主要ナル海峽及ヒ瀬戸ハ朝鮮海峽、宗谷海峽、千島海峽、津輕海峽、紀淡海峽、佐賀關海峽、馬關海峽、對馬海峽等ナリ
海流及潮汐 日本近海ノ海流ハ凡テ五派アリ、

暖流ハ台湾ノ邊ヨリ來ル黒潮本流(日本海流)及
ヒ其支流ナル對馬海流ニシテ、寒流ハ「オコツク」
海近傍ヨリ生ズル「リマン」海流、樺太海流、及ビ千
島海流(親潮)ナリ
日本近海ハ概シテ潮差少ク、特ニ日本海ハ潮汐
ノ微ナルヲ以テ著名ナリ、大平洋ノ沿海ハ潮汐
稍々大ナリト雖モ、大潮ノ時モ二尺以上ニ昇ラ
ズ
地味 大概肥沃ナレモ、山陰ノ一道甚々薄瘠ナ
リ
氣候 四面皆海ナルヲ以テ寒暑共ニ甚シカラ

ズ、氣候中和ニシテ人身ニ適セリ、然シテ北緯三
十七度以南ノ地ハ、黒潮暖流ノ影響ニ因リ、東海
岸ハ西海岸ヨリ温暖ナレモ、以北ノ地ニ在テハ
親潮寒流其東岸ヲ洗フヲ以テ、西海岸反テ溫度
高シ、又本邦冬季ハ北若クハ西北風多キヲ以テ、
日本海沿岸雨雪多ク、夏季ハ南若クハ東南風多
キヲ以テ、大平洋沿岸降雨多シ、要スルニ本邦ハ
雨量多ク、全國一般六月頃ハ霖雨(梅雨ト云フ)多
ク、九月ニハ暴雨多シ
都邑 人口二萬以上ノ都邑合計六十四アリ、即
チ次ノ如シ

廿萬以上 東京、大坂、京都
 十萬以上 名古屋、神戸、横濱
 五萬以上 金澤、廣島、仙台、長崎、德島、函館、富山、
 熊本、鹿兒島、福岡、和歌山、岡山
 四萬以上 新潟、堺、福井
 三萬以上 静岡、松江、宇都宮、高松、高知、甲府、松
 山、赤馬關、盛岡、前橋、岐阜、弘前、高岡
 二萬以上 長野、山形、津、大津、米澤、佐賀、宇治、山
 田、水戸、秋田、松本、鳥取、高崎、小樽、久留米、姫路、札
 幌、奈良、若松、千葉、八王子、青森、酒田、明石、高田、河
 越、彦根、熱田、枋木、上田、鶴岡

總

論

(一)

交通 道路ニ國、縣、里道ノ三種アリ、鐵道ハ明治
 五年、京濱線ノ創設以來、方今ハ其延長千七百五
 十餘里ニ達シ、電線ハ其全長八千九百七十八里
 ニ及ビ、加フルニ電話ノ業亦發達シ、海路ハ内國
 諸港ハ勿論、印度、支那、朝鮮及浦鹽ノ航海、我掌中
 ニアリテ、要スルニ近來海陸共ニ益々開ケ交通
 至便ナリ

商業 商業モ亦近來益々盛大ニ赴ケリ、内國商
 品ノ第一ハ米ニシテ清酒之レニ次ギ、其他麥、甘
 藷、大豆、生絲、織物、茶、石炭、等重要ナル位置ヲ占ム、
 又主要ナル輸出品ハ生絲、茶、石炭、銅、米、樟腦、マツ

ナ等ニシテ、輸出品ハ綿、綿絲、石油、砂糖等ナリ、而シテ取引國ノ重ナル者ハ、印度、支那、英吉利、合衆國、佛蘭西、獨乙等ナリ

普通貿易港 横濱、神戸、長崎、箱館、新瀉、大坂

朝鮮ニ對スル特別貿易港 下ノ關、博多、佐須

奈、鹿見、嚴原

米、麥、麥粉、石炭、硫黃ノ特別輸出港 四日市、三

角、口ノ津、博多、小樽、門司、下ノ關、伏木、唐津、釧路、

室蘭、宮津

政體 東洋唯一ノ主憲君主制ニシテ、上ニ萬世

一系ノ天皇アリテ國政ヲ統治シ給ヒ、行政事務

ハ國務大臣、天皇ヲ輔弼シテ其責ニ任シ、立法ハ凡テ帝國議會(貴族院、衆議院)ノ協賛ヲ經テ之レヲ行ヒ、司法權ハ天皇ノ名ニテ裁判所之ヲ行フ。地方ノ政務ハ全國ニ一道廳、三府、四十三縣ヲ置キ、長官及ヒ知事、內務大臣監督ノ下ニ部内ノ行政事務ヲ司リ、道廳、府縣ノ下ニ市、區、郡役所、或ハ島廳ヲ置キ、郡ハ更ニ之ヲ町村ニ分テ、各長ヲ置キ、人民直接ノ政ヲ執ラシム

軍備 滿十七歳ヨリ四十歳迄ノ帝國臣民(男子)

ハ皆兵役ニ服スルノ義務ヲ有ス、兵役ニ三種アリ、常備兵役(現役)、陸軍三年、海軍四年、豫備役、陸軍

四年、海軍三年後備兵役(五年)及ヒ國民兵役之レナリ
陸軍ノ編制ハ近衛及ビ七師團アリ、之レヲ全國七師管區ニ配置ス、又離島ニハ別ニ警備隊ノ設アリ、現今陸軍々人ノ總數ハ二十六萬七千餘アリ

師團所在地

- 第一師團 東京市
- 第二師團 仙台市
- 第三師團 名古屋市
- 第四師團 大坂市

第五師團 廣島市
 第六師團 熊本市
 第七師團 札幌

海軍ハ全國ノ海岸及ヒ海面ヲ五海軍區ニ分テ、各區ノ軍港ニ鎮守府ヲ置キ、之レヲ管轄セシム、現今海軍々人ハ其總數一萬四千餘ニシテ、軍艦ハ近頃支那ヨリ分捕ノ諸艦ヲ合セ凡テ四十七艘アリ

軍港所在地

- 第一海軍區 橫須賀軍港
- 第二海軍區 吳軍港

第三海軍區 佐世保軍港
 第四海軍區 舞鶴軍港(未設)
 第五海軍區 室蘭軍港(未設)

宗教、教育 宗教ノ最モ廣ク行ハル、ハ佛教ニシテ、神道、儒教之レニ次キ、基督教ハ微々タリ、教育ハ漸々普及シ、學齡(滿六歳ヨリ十四歳)兒童ノ殆ント二分ノ一ハ就學セリ、然レモ女子ハ不就學者殊ニ多シ、帝國大學ハ東京ニアリ、高等學校ハ全國七ヶ所ニアリテ、其他各種ノ專門學校、師範學校、中學校等其數極メテ多シ

畿内 五國

總論 畿内ハ殆ント我帝國ノ中央部ニ位シ、最モ古ク開ケタル所ニシテ、神武天皇以來歷代ノ帝都多ク此所ニアリ、故ニ人口最モ多ク名邑古蹟亦少カラズ、面積四百四十五方里、人口二百四十餘萬アリ

境界 北 山陰道 東山道 東 東海道
 南 南海道 西 大坂灣 山陽道

地勢 北東南ノ三面ハ一般ニ高地ニシテ、特ニ南部大和ノ地方ハ山岳重疊セリ、然レモ大坂灣

ノ沿岸及ヒ山城ノ中部ハ低地ニシテ、淀川其中
央ヲ貫流ス、故ニ之レヲ淀川ノ平野ト云フ、大和
ノ北部大和川ノ流域モ亦低地ナリ
山河 大和ノ南部ニ幽峻ナル山岳多ク、大台原
山地藏岳等其秀峰タリ、此他比叡山、金剛山、吉野
山等亦有名ナル者ナリ
河流ハ十津川ヲ除クノ外皆大坂灣ニ注入ス、中
ニ就テ淀河、大和川其大ナル者ナリ
金剛山ハ大和ニテハ葛城山ト稱シ、有名ナル
千早ノ城趾其山腹ニアリ
吉野山ハ吉野川其麓ヲ流レ、全山皆櫻樹ニシ

テ一目千本奥千本ノ勝アリ
淀川(一九里)上流ヲ勢多川ト云ヒ、近江ノ琵琶
湖ニ發源シ、茶ノ名所ナル宇治ニ到リテ宇治
川トナリ、淀ヨリ下流ハ更ニ淀川ノ名アリ、舟
航スベキ所十五里ニ過キズト雖モ運輸ノ便
大ナリ
大和川ハ上流ヲ吉野川ト稱シ、大和ニ發源シ
河内ヲ貫キ和泉ニ到テ海ニ入ル
温泉 有馬温泉ヲ以テ有名ナル者トス
有馬ハ武庫山ノ西北麓湯山町ニアリ、古昔舒
明、孝德兩帝及ヒ白河法皇ノ行幸アリシ所ニ

シテ、今尙浴客多シ
海岸 大坂灣ハ一ニ之ヲ茅渚ノ海ト稱シ、其東
邊ハ遠淺ニシテ碇舶ニ便ナラズト雖モ、漁業ノ
利多シ
地味 淀川、大和川ノ平野ハ一般ニ肥沃ナレモ、
南方ノ山地ハ土地瘠薄ナリ
氣候 大抵溫暖ナレモ、海邊ト山地ハ多少差違
ナキニアラズ
都邑 大坂、京都、神戸、堺、奈良等其有名ナル者ナ
リ

大坂(四八、五) 淀川ノ河口ニ位シ、溝渠市中ニ

縱横シテ運輸頗ル便ナリ、有名ナル大坂城ハ
豊臣秀吉ノ城ク所ニシテ、今ハ唯本丸ノミヲ
存シ、第四師團此所ニアリ、古來此地ハ關西商
業上ノ要路ニ當リ、百貨輻湊シ市街繁盛ナリ
京都(三一、六) 一ニ西京ト稱ス、今ヲ去ル千百
年前、即チ桓武天皇ノ延暦十三年ヨリ明治元
年ニ至ル迄、七十一代、千七十四年間ノ帝都ナ
リ、土地平坦ニシテ加茂ノ清流其東ヲ流レ、市
街清潔ニシテ街衢端正ナリ、舊皇居ハ市ノ北
方ナル御苑ト稱スル公園内ニアリ、二條ノ城
ハ二條通りノ西ニ位シ、二條離宮ト稱ス、其他

神社、佛閣、名勝、古蹟、頗ル多シ
神戸(一五、三) 慶應三年、始メテ開港セル互市
場ニシテ、横濱ニ次キ貿易盛ナリ、湊川市ノ中
央ヲ流ル、河西ハ即チ元ノ兵庫ナリ、港川神社
ハ市中ニアリテ、有名ナル楠公ノ碑、社内ニア
リ、其他布引ノ瀧、諏訪山ノ温泉亦此地ノ名勝
ナリ
堺(四、六) 永祿年間ヨリ、外國ノ商船此港ニ來
リテ交易シ、古昔ハ互市場トシテ市況繁盛ナ
リシガ、今ハ大ニ衰微セリ、市中ハ鐵器及ヒ段
通ノ製造盛ナリ

奈良(二、五) 元明帝ヨリ七代、八十餘年間ノ帝
都ニシテ、今ニ南都ト稱ス、春日神社、東大寺ハ
有名ナル社寺ニシテ、特ニ東大寺ノ大佛ハ五
丈三尺ノ座像ニシテ、顔ノ長サ一丈六尺アリ
テ、極メテ著名ナリ

交通 概スル交通不便ナラズシテ、瀛車瀛船ノ
便多シ

東海鐵道 神戸ヨリ大坂、京都ヲ經テ東京ニ
到ル
坂堺鐵道 大坂ノ灘波ヨリ堺ニ到ル
大坂鐵道 大坂ノ新町ヨリ大和ノ奈良ニ達

ス、一線稻葉山ヨリ分岐シ、高田ヲ過キ櫻井ニ到ル

山陽鐵道 神戸ヨリ廣島ニ達ス

大坂商船會社氣船ハ、大坂ヨリ關西諸港及ビ朝鮮ニ定期航海シ、日本郵船會社氣船ハ神戸ヨリ内外國ニ航海ス

邦制 二府二縣

大坂府 大坂市 河内、和泉、攝津一市七郡

京都府 京都市 山城、丹後、丹波五郡

兵庫縣 神戸市 播磨、但馬、淡路、攝津一市五郡、丹波二郡

奈良縣 奈良町 大和

物産 灘ノ清酒、山城ノ茶ヲ以テ重ナル者トス、

其他京都ノ西陣織、鴨川染、清水燒、奈良ノ墨、吉野葛塚ノ鐵器、段通等亦名アリ

史上ノ古蹟 笠置山、金剛山、吉野山、港川、須磨、尼崎

東海道 十五國

總論 東海道ハ大平洋沿岸ノ地方ニシテ、東西百四十餘里ニ涉リ、帝都ノ所在地トシテ最モ樞要ナル地方ナリ、其人口ハ畿内ニ次テ繁ク、總數

八百九十餘萬、面積二千六百五十八方里アリ
境界 北 東山道 東 大平洋
南 大平洋 西 南海道畿内
地勢 北方一帶、山脈連亘シ、地勢一般ニ北部ニ
高く、漸々南方ニ低下ス、伊賀、甲斐ノ二國ハ四面
皆山ヲ帶ビテ、土地高く、木曾川、利根川ノ流域ハ
低野ヲ成セリ、濃尾ノ平野、關東ノ平野即チ之レ
ニシテ、關東八州トハ函根以東ニ位スル相摸、武
藏、上總、下總、安房、常陸、及ビ中仙道ノ上野、下野ヲ
併稱シ、關西トハ函根以西ノ諸州ヲ云フ
山河 本道ニハ有名ナル高山、大河多シ、有名ナ

ル富士山(一二、四六七尺)白根山(一〇、二一二尺)駒
ヶ岳(九、九三四尺)八ヶ岳(九、六七六尺)等ハ其最モ
高峻ナル者ニシテ、函根山、天城山、大山、筑波山等
モ又有名ナリ
諸川ハ皆北境ナル山脈ヨリ發源シテ海ニ注ク、
中ニ就テ、有名ナル大河ハ、利根川(七〇里)荒川(三
二里)富士川(二九里)大井川(四六里)天龍川(六〇里)
及ビ木曾川(六五里)等ナリ
富士山ハ本邦第一ノ高山ニシテ、甲駿二州ニ
跨リ、十三州ヨリ之レヲ望ム、山姿ハ整正ナル
圓錐形ヲナシ、恰モ白扇ヲ倒ニ懸ケタルカ如

シ、山頂ニ舊火孔アリ、周圍半里許、俗ニ之レヲ
内院ト云フ
利根川ハ上野ニ發源シ、下總ニ入り關宿ニ到
リテ、一支流ヲ分ツ之レヲ江戸川ト云フ、南下
シテ國府臺ノ下ヲ流レ東京灣ニ入ル、而シテ、
本流ハ東南ニ流レ、印旛沼、霞浦等ノ水ヲ合セ、
銚子ニ到リテ海ニ注グ、利根川ハ關東第一ノ
大河ナルヲ以テ、坂東太郎ノ稱アリ
木曾川ハ信濃ノ鳥居峠ノ近傍ニ發源シ、木曾
ノ谿間ヲ流レ、濃尾ノ境ニ到リ、諸川ヲ合セ南
流シ、幾多ノ支流ニ分岐シテ海ニ注グ

湖沼 利根川ノ下流、卑濕ノ地ニ湖沼多シ、霞浦
(周圍三六里)印旛沼(一二里)等其重ナル者ニシテ、
其他、遠州ノ濱名湖、箱根ノ蘆ノ湖等亦有名ナリ
温泉 富士帶地方ニ温泉多シ、中ニ就テ、有名ナ
ル者ヲ箱根、熱海トス
箱根温泉ハ箱根山中ニアリ、湯本、塔澤、宮下、堂
島、底倉、木賀、蘆湯ヲ併セテ七湯ト稱ス、共ニ山
水明媚ニシテ浴客多シ
熱海温泉ハ伊豆ノ東岸ニアリ、氣候溫和ニシ
テ空氣清涼ナルヲ以テ、寒暑共ニ浴客多シ、此
地ノ温泉ハ日々時ヲ期シテ噴出ス、之レヲ間

歇泉ト稱ス

海岸 南海岸ハ出入多ク、有名ナル岬角、港灣少カラズ、灣ノ大ナル者ハ東京灣、駿河灣、伊勢ノ内海ニシテ、半島ノ大ナルハ房總半島、伊豆半島、志摩半島ナリ

九十九里濱 下總犬吠崎ト上總大東崎ノ間、大凡十五里、有名ナル鰯ノ漁場ナリ
相摸洋 相摸眞鶴崎ト三浦半島ノ間、大凡十一里

遠州灘 志摩大王崎ト伊豆廊崎ノ間、大凡七十五里、波浪荒ク碇舶ス可キ良港ニ乏シ

地味 濃尾ノ平野、關東ノ平野ハ一般ニ肥沃ニシテ、其他ノ地方ハ、志摩、伊豆(薄瘠)ヲ除キ、肥瘠一ナラズ

氣候 南方海ニ臨ミ、黒潮ノ暖流、其沿岸ヲ洗フヲ以テ、寒暑共ニ甚シカラズ、氣候中和ナリ、又此地方ハ夏期、南風多ク從テ雨量多シ、

都邑 有名ナル都邑ハ東京、横濱、水戸、千葉、静岡、甲府、名古屋、津、等ニシテ要港ハ銚子、横須賀、下田、清水、半田、四日市、鳥羽等ナリ

東京(一二七八) 元江戸ト稱シ、天正十八年、徳川家康居城ヲ築キシ以來、十五代、二百六十五

年間、幕府ノ存在セル所ニシテ、明治二年、車駕東臨シテ都ヲ此所ニ定メ、江戸ヲ東京ト改稱セリ、宮城ハ市ノ中央ニ位シ、廻ラズニ溝渠ヲ以テシ、中央政府ノ官廳、皆外郭ノ地ニアリ、全市ハ之レヲ十五區ニ分テ、隅田川其東部ヲ流レ、架スルニ五大橋ヲ以テス、市街幅廣ク、鐵道馬車重ナル街道ヲ往復シ、又電燈瓦斯燈ノ設ケアリテ、晝夜共ニ市中雜鬧シ、商業盛大ナリ、上野、淺草、芝ノ三公園ヲ始メトシ、愛宕九段、向島、飛鳥山等、四時遊覽ノ地少カラズ
 横濱(一五、二) 東京ニ近接シ、關東ノ港灣中、最

モ樞要ナル位置ヲ占メ、本邦ノ輸出入品ノ過半ハ此地ヲ經過ス、此所ヲ以テ貿易ノ盛ナル「本邦第一ナリ」
 水戸(二、八) 那珂川ノ南畔ニ位シ、水戸侯ノ舊城地ニシテ、商況盛ナリ、有名ナル弘道館、偕樂園ハ此市ノ勝區タリ
 千葉(二、四) 東京灣ニ臨ミ、千葉縣廳ノ所在地ニシテ、第一高等學校醫學部又此所ニアリ
 静岡(三、六) 駿府、又ハ府中ト稱シ、徳川家康ノ退隱セル地ニシテ、安倍川其西方ヲ流ル、市ノ東方海岸ニ久能山アリ、家康ヲ祭レル所ニシ

テ、風光明美ナリ、市中ハ茶業盛ナリ
甲府(三、三) 甲斐第一ノ都會ニシテ、市中生糸
ノ製造盛ニシテ、商賣繁昌セリ
名古屋(一八、八) 昔ヨリ小江戸ト稱シ、三府ニ
次グノ都會ナリ、名古屋城ハ市ノ北部ニア
リ、慶長十五年、徳川義直ノ築造セル所ニシテ、
城樓ノ屋上ニ有名ナル黄金ノ鱧アリ、現今第
三師團此所ニアリ
津(二、九) 古昔藤堂氏ノ城地ニシテ、伊勢第一
ノ都會ナリシガ、今ハ四日市ノ爲メ稍其繁盛
ヲ奪ハル、此市ノ南方ニ宇治、山田アリ、天照皇

大神ヲ奉祀セル内宮ハ宇治ニアリ、豊受大神
ヲ奉祀セル外宮ハ山田ニ在リテ、共ニ我國ニ
於テ最モ尊崇スル神宮ナリ

交通

本道ハ海陸共ニ交通至便ナリ

東海道鐵道 東京、新橋ヨリ横濱、沼津、静岡、濱
松、豊橋、名古屋ヲ經テ、神戸ニ達ス

支線赤羽線ハ品川ヨリ分岐シ、新宿、板橋ヲ
經テ、赤羽ニ到リ、奥羽線ニ接續ス
横須賀線ハ大船ヨリ分レ、鎌倉ヲ經テ、横須
賀ニ達ス

武豊線ハ大府ヨリ分岐シ、龜崎、半田ヲ過キ

武豊ニ到ル
 關西鐵道 四日市ヨリ龜山ヲ經テ、草津ニ到
 テ東海鐵道ニ連リ、一線ハ龜山ヨリ津ニ達シ、
 參宮鐵道ニ接續ス
 參宮鐵道 津ヨリ松坂ヲ過キ、宇治、山田ニ達
 ス
 日本鐵道 奥羽線ハ上野ヨリ浦和、大宮ヲ經
 テ、青森ニ達シ、中仙道線ハ大宮ヨリ分レ、熊谷
 ナ經テ、前橋並ニ横川ニ到ル、然シテ水戸線ハ
 水戸ニ起リ、小山ニ於テ奥羽線ニ接續ス
 總武鐵道 東京本所ヨリ成田ヲ經テ、千葉ニ

到ル
 甲武鐵道 東京飯田町ヨリ四ツ谷、新宿ヲ過
 キ、八王子ニ達ス
 川越鐵道 川越ヨリ起リ所澤ヲ經テ、國分寺
 ニ到テ甲武鐵道ニ連ル
 日本郵船會社氣船ハ横濱ヨリ内外諸港ニ定
 期航海シ、其外各地要港ノ間、船舶ノ往來多シ
 邦制 一府八縣
 茨城縣 水戸市 常陸、下總六郡
 千葉縣 千葉町 安房、上總、下總八郡
 埼玉縣 浦和町 武藏十七郡、下總一郡

東京府 東京市 武藏一市十一郡、伊豆七島
 小笠原島
 神奈川縣 橫濱市 相模、武藏一市
 山梨縣 甲府市 甲斐
 静岡縣 静岡市 伊豆、駿河、遠江
 愛知縣 名古屋市 參河、尾張
 三重縣 津市 伊賀、伊勢、志摩、紀伊二郡

物産 農産ハ米、麥、水産ハ、乾鰯、乾魚、鱈節等ヲ主
 トシ製造品ハ駿遠並ニ伊勢ノ茶、野田、銚子ノ醬
 油、流山ノ味淋、其他、東京ノ團扇、淺草乾海苔、郡内、
 秩父、八王子ノ絹布、静岡ノ漆器、竹細工、名古屋ノ

扇子、七寶燒、尾張ノ瀬戸燒、伊勢ノ萬古燒等ヲ重
 ナル名産トス

史上ノ古蹟 鎌倉大目山、浮島原、三方原、桶狹
 間、小牧山

屬島 伊豆ノ南方、大平洋上ニ並列スル島嶼ヲ
 豆南諸島ト稱シ、其伊豆半島ニ近キ、大島、新島、利
 島、神津島、式根島、三宅島、御倉島ヲ總稱シテ伊豆
 七島ト云フ、大島最モ大ニシテ周圍十八里アリ、
 三原ノ火山、其中央ニ位ス、八丈島ハ七島ノ南ニ
 アリ、東京ヲ去ル七十二里、八丈織ヲ以テ有名ナ
 リ

小笠原群島ハ八丈島ノ南殆ント熱帶ニ近ク位
ス、文祿二年小笠原定頼ノ發見セル所ニシテ、父
島母島最大ナリ、父島ノ西方ニ二見港アリ、島廳
ハ港ノ沿岸ナル大村ニアリ、此地方ハ氣候溫暖
ニシテ椰子、鳳梨、露兜樹等ノ熱帶植物ヲ産ス、地
味肥沃ニシテ、人民ハ農ヲ重ナル。産業トシ、傍ラ
牧畜、漁業ニ從事ス、全島人口僅ニ千餘人、内歸化
人凡百人アリ

東山道 十三國

總論 東山道ハ脊梁山脈ニ沿フテ、本州ノ西南

ヨリ東北ニ馳ル地方ニシテ、西南部ハ東西ニ巨
リ海ニ面セズ、之レヲ中仙道ト稱シ、近江、美濃、飛
彈、信濃、上野、下野ノ六國ヨリ成ル、而シテ東北部
ハ南北ニ連リ、東北西ノ三面海ニ瀕ス、之レヲ奥
羽ト稱シ、岩代、磐城、陸前、陸中、陸奥、羽前、羽後ノ七
國ヨリ成ル、面積凡テ六千八百五十方里アリ、土
地廣大ナレモ、全道山多ク、土地開ケザルヲ以テ、
人口ハ稀少ニシテ、僅ニ三百九十萬餘ニ過キズ
境界 北 津輕海峽 東 大平洋
南 東海道 西 畿内北陸道
地勢 一般ニ山多ク、地勢險峻ナリ、特ニ飛彈信

濃ハ山岳重疊シテ、本邦第一ノ高地ナリ、然レモ、琵琶湖ノ沿岸、美濃、上野、下野ノ南部、及ヒ阿武隈川、北上川ノ流域ハ、土地低平ナリ

山河 本道ハ高山極メテ多ク、乗鞍岳(一〇、四五〇尺)赤石山(一〇、一三五尺)淺間山(八、二三〇尺)男体山(八、一九六尺)等ヲ始メトシテ、御岳、那須岳、赤城山、榛名山、盤梯山、吾妻山、鳥海山、月山、岩木山等、其名高シ

本州ノ大河ハ皆本道ニ發源ス、中ニ就テ、本道ヨリ直ニ海ニ注ク者ハ、北上川(七六里)最上川(五四里)阿武隈川(三九里)ヲ以テ重ナル者トス

淺間山ハ信濃、上野ノ境ニ聳ヘ、有名ナル火山ニシテ、山頂ヨリ絶ヘス噴煙ス

北上川ハ陸中ノ北境ニ發源シ、南盛岡ヲ過キ、石ノ巻ニ到リテ、仙臺灣ニ入ル、灌漑舟運ノ利共ニ極メテ多シ

最上川ハ源ヲ羽前ノ國境ニ發シ、月山ノ麓ヲ繞リ、日本海ニ入ル、水勢劇烈ニシテ舟楫ノ便少シ、河口ニ酒田港アリ

湖沼 琵琶湖(周圍七二里)ニ次デ有名ナル者ヲ、猪苗代湖(一六里)、八郎潟(一五里)、小河原湖(一三三里)、十和田湖(一〇里)、中禪寺湖(五里)、諏訪湖(四里)トス

琵琶湖ハ本邦第一ノ大湖ニシテ、南北長サ十六里、東西幅一里乃至五里アリ、沿岸ニ長濱彦根大津等ノ市街アリテ氣船湖上ヲ往來シ、運輸灌溉ノ便少カラズ、湖水ハ大津ヨリ流レテ勢多川トナル、近年又此湖水ヲ市都ニ疏通セリ

温泉 本道極メテ温泉多シ伊香保、草津、鹽原、磯部ヲ最モ有名ナル者トス

伊香保ハ榛名山ノ麓ニ位シ、草津ハ吾妻山ノ東南ニアリテ、共ニ浴客多シ

海岸 日本海沿岸ハ出入極メテ少ク、港灣ニ乏

シ、北方津輕海峽ニ面スル青森灣以東ノ大平洋沿岸ハ、屈折鋸齒ノ如ク其間良港少カラズ、然レモ仙臺灣以南ハ海岸單一ニシテ、港灣ナシ

地味 近江、美濃、陸前及ヒ上野ノ東南部ハ肥沃ニシテ、他ノ諸國ハ肥瘠相交ル

氣候 中仙道ハ土地高低一ナラザルヲ以テ、寒暖一樣ナラズ、一般ニ低地ハ温暖ニシテ、飛彈信濃ノ如キハ、寒氣大ニ強シ、奥羽地方ハ、親潮寒流其東岸ヲ洗フヲ以テ、西岸反テ温高シト雖モ、冬季北風多キヲ以テ雪深シ

都邑 仙臺、米澤、秋田、弘前、青森、盛岡、山形、宇都宮

前橋、長野、岐阜、大津等、其重ナル者ニシテ、要港ハ酒田、土崎、荻ノ濱、石ノ巻等ナリ
仙臺(六、七) 本道第一ノ大都會ニシテ、第二師團此所ニアリ、此地ノ東北、仙臺灣ノ西部ニ有名ナル松島アリ、風景絶佳ニシテ日本三景ノ一ナリ
米澤(二、八) 最上川ノ上流ニ位シ、上杉氏ノ舊城地ニシテ、米澤織ヲ以テ名アリ
秋田(二、七) 御物川ノ河口ニ近ク位シテ、市街土崎港ニ近接シ、秋田織、八丈及ヒ秋田蓆ノ名産アリ

弘前(三、〇) 陸奥第一ノ都會ニシテ、岩木川ニ臨ミ、市街繁盛ナリ
青森(二、三) 青森灣ノ西南岸ニアリ、函館港ト相對シ、東北地方ノ要港ニシテ、海陸共ニ交通便利ナリ
盛岡(三、二) 北上川ノ中流ニ位シ、南部氏ノ舊城地ニシテ、陸中第一ノ都會ナリ
山形(二、九) 米澤ノ北十二里ニアリ、縣廳ノ所在地ニシテ、商業盛ナリ
宇都宮(三、四) 下野ノ殆ント中央ニ位シ、奥羽街道ノ要衝ニシテ市街繁昌セリ、此方ノ北方、

十餘里ニ日光アリ、徳川氏靈廟ノ地ニシテ本邦第一ノ名勝ナリ
前橋(三、二) 利根川ノ上流ニ位シ、製絲ノ業非常ニ盛ナリ
長野(二、九) 千曲、犀兩河ノ會スル所ニアリ、市中ニ有名ナル善光寺アリ
岐阜(三、一) 長良川ニ臨ミ、有名ナル岐阜提燈ノ産出地ナリ
大津(二、九) 琵琶湖ノ流出口ニ位シ、京都ノ東三里ノ地ニアリ、市況甚々盛ナリ、此市ノ近傍湖水ノ沿岸ニ、有名ナル近江八景アリ

交通

本道ハ山岳ニ富ミ沿岸ニ良港乏シキヲ以テ、交通東海道ノ如ク至便ナラズ

日本鐵道 奥羽線ハ盛岡、白川、福島、宇都宮、等

ヲ經テ東京ニ到ル

支線鹽釜線ハ仙臺ヨリ鹽釜ニ到ル

日光線ハ宇都宮ヨリ日光ニ到ル

直江津鐵道 直江津ヨリ長野、上田、輕井澤ヲ

經テ横川ニ到リ、日本鐵道ノ中仙道線ニ連リ、

東京ニ達ス

兩毛鐵道 前橋ヨリ桐生、足利、栃木ヲ經テ、小

山ニ到リ奥羽線ニ接續ス

邦制

十一縣

日本郵船會社小樽、橫濱間ノ定期船ハ、荻ノ濱ニ寄港シ、又青森函館間ニ定期航海アリ、夏期ニ限リ北海諸港ノ間又氣船ノ往來アリ

滋賀縣

大津町

近江

岐阜縣

岐阜市

美濃、飛驒

長野縣

長野町

信濃

群馬縣

前橋市

上野

栃木縣

宇都宮町

下野

福島縣

福島町

岩代、盤城十一郡

宮城縣

仙臺市

陸前一市十三郡、盤城三郡

東

岩手縣 盛岡市 陸前一郡、陸中一市十七郡

陸奥一郡

青森縣

青森町

陸奥一市八郡

山形縣

山形市

羽前、羽後一郡

秋田縣

秋田市

羽後一市八郡、陸中一郡

物産

本道ハ鑛産ニ富ミ、金、銀、銅、鐵、滿俺等ノ産

出多シ、就中、足尾、尾去澤、阿仁ノ銅、院内ノ金、銀、半

田、小阪ノ銅、釜石ノ鐵ヲ以テ最トス、米、生絲ハ、又

本道ノ主要ナル物産ニシテ、其他、近江ノ濱縮緬、

美濃紙、桐生、足利ノ織物、岩代ノ會津塗、南部三春

ノ駿馬、米澤織、秋田織、羽後ノ能代塗等ヲ以テ名

道

産トス
史上ノ古蹟 賤ヶ岳、關原、川中島、勿來關、壺ノ
碑、衣川

北陸道 七國

總論 本道ハ北方日本海ニ臨ミ、西南ヨリ斜ニ
東北ニ亘リ、土地狹長ニシテ、長サ凡百三十里、巾
廣キ所二十里ニ過ギズ、若狹、越前、加賀、能登、越中、
越後及佐渡ノ七國ヨリナリ、面積千五百七十七
方里、人口三百七十八萬餘アリ
境界 北 日本海 東 東山道

西 山陰道 南 東山道

地勢 東南一帶、大山脈連亘シ、土地峻嶮ナリト
雖ニ、海岸一帶平地少カラズ、特ニ信濃川下流ノ
地ハ沃野頗ル廣ク、本道第一ノ低野タリ
山河 大山脈中高山少カラズ、大蓮華山(九、八七
五尺)、白山(八、九四七尺)、立山(五、〇四〇尺)等、其著名
ナル者ナリ
河流ハ大抵、東南境ノ山脈ヨリ發源スレニ、大河
ハ遠ク東山道ノ中央ヨリ流下シテ日本海ニ潮
セリ、信濃川(百里)其最大ナル者ニシテ、阿賀川(四
五里)、神通川(四〇里)、射水川(三〇里)之レニ次ク

白山ハ金澤市ノ南、凡十八里ニ聳ユ、消火山ニシテ、舊火孔ハ水ヲ湛テ湖トナレリ、山頂ニ白山神社アリテ參詣者多シ

立山ハ富山市ノ東ニアリ、消火山ニシテ、有名ナル地獄此所ニアリ、山頂至テ遠望ニ富ム

信濃川ハ筑摩川ノ下流ニシテ、越後ニ入り信濃川ト云フ、本土第一ノ長流ニシテ、長サ百餘里アレヒ、舟運ノ利ハ利根北上ノ諸川ニ及バズ

湖沼 北越ノ沿岸、海ニ通スル湖沼多シ、然レ共、一モ大ナル者ナシ、僅ニ河北潟(周圍六里)、北潟(五

里ヲ以テ其大ナル者トス

海岸 本道ノ海岸ハ能登灣及若狹ノ灣ヲ除クノ外、大概、單一ニシテ屈折少ク、港灣ニ乏シク、冬期風浪荒ク、船舶ノ往來絶ユ

地味 概シテ瘠薄ナレヒ、越前、越後ノ低地ハ肥沃ナリ

氣候 寒暑ノ度、酷烈ナラスト雖ヒ、冬ハ北風甚タ凜烈ニシテ、降雪非常ニ多シ

都邑 金澤、新潟、富山、福井、高岡、高田等、其主ナル者ニシテ、其他小濱、敦賀、七尾、伏木、直江津ノ諸港其名高シ

金澤(九、〇) 本道第一ノ大都ニシテ、日本海ニ面ス、前田氏ノ舊城地ニシテ、名古屋ニ次テ繁華ナル所ナリ、第三師團ノ分營及第四高等學校此所ニアリ
新潟(四、九) 信濃川ノ河口ニ位シ、國中一ノ都會ニシテ、我國五港ノ一ナリ、然レモ、水淺ク底質惡シク、加フルニ風濤ヲ遮ル可キ者ナキヲ以テ、碇舶ニ便ナラズ
富山(五、七) 神通川ノ東岸ニアリ、北陸ノ要路ニ位シ、古來藥商多キヲ以テ名アリ
福井(四、二) 足羽川ノ岸ニアリ、松平氏ノ舊城

地ニシテ、市街繁盛ナリ

高岡(三、〇) 富岡ノ西北五里ニアリ、國中第二ノ都會ニシテ、金、銀、銅、鐵、漆器ヲ以テ名アリ

高田(二、〇) 榊原氏ノ舊城地ニシテ、有名ナル雪深キ土地ナリ

交通 本道ハ道路大概險ニシテ、海上又風波多ク交通便ナラズ

直江津鐵道 直江津ヨリ高田ヲ經テ、東京ニ至ル

敦賀鐵道 敦賀ヨリ長濱ヲ經テ、米原ニ至リ、東海鐵道ニ接續ス

日本郵船會社氣船、夏期ハ直江津、新瀉等ニ出入スレモ、冬期ハ風浪險ナルヲ以テ、航海全ク絶ユ

邦制 四縣

福井縣	福井市	若狹、越前
石川縣	金澤市	加賀、能登
富山縣	富山市	越中
新瀉縣	新瀉市	越後、佐渡

物産 北越ノ米、佐渡ノ金、銀ヲ以テ、重ナル者トス、其他若狹塗、能登ノ輪島塗、加賀ノ九谷燒、高岡ノ銅器、富山ノ賣藥、越前ノ奉書紬、越後縮、越後上

布、等亦此地方ノ名産ナリ
史上ノ古蹟 俱利伽羅峙

山陰道及山陽道 各八國

總論 畿内及ヒ北陸道ノ西ニ位スル、狹長ナル土地ニシテ、其中央ヲ東西ニ走ル大山脈ノ北部ヲ山陰道ト云ヒ、南部ヲ山陽道ト云ヒ、兩道ヲ總稱シテ中國ト云フ、山陰道ハ面積千〇八十六里、人口百七十九萬餘ヲ有シ、山陽道ハ面積千五百七十方里、人口四百八十餘萬ヲ有ス
境界 北 日本海 東 北陸道、東山道、畿内

南 瀨戸内海 西 日本海
地勢 中國山脈、兩道ノ境界ニ沿フテ東西ニ蜿蜒シ、土地南北ニ向テ斜傾シ、地幅狹少ニシテ、廣キ所三十餘里ニ過ギズ、沿岸、河口、多少ノ平野アレハ、一モ廣濶ナル者ナシ、中ニ就テ、江川ノ平野ヲ以テ稍大ナリトス
山河 山岳多シト雖モ高山ナク、本道第一ノ高山ト稱スルノ大山ト雖モ(五、八〇八尺)ニ過ギズ、三瓶山(三、八七〇尺)德佐峯(三、二六七尺)之レニ次テ名アリ
中國山脈以北ノ河流ハ、此山脈ノ發源シテ北流

シ、以南ノ者ハ南流ス、獨リ本道一ノ大河ナル江河(五〇里)ノミハ以南ニ發源シテ、山脈ヲ横斷シ、北流シテ日本海ニ入ル、南岸ニハ大河ナク、加古川(二五里)吉井川(二八里)岡山川(三二里)岩國川(三七里)ヲ以テ、其大ナル者トス
大山ハ伯耆國米子町ノ東ニ聳ユ、中國第一ノ高山ニシテ、休火山ナリ
江川ハ石見、安藝ノ國境ニ發源シ、備後ヲ環リテ石見ニ入リ海ニ注ク、二十餘里ノ間、舟運ノ便アリ
湖沼 中海湖(周圍十六里)本道一ノ大湖ニシテ、

矢道湖(十三里)之レニ次ク
海岸 山陰道海岸ハ屈曲少ク、丹後、出雲ノ兩灣
稍大ナルノミ、山陽道ハ之レニ反シ、屈折頗ル多
ク、港灣至テ多シ、就中、廣島灣、兒島灣ヲ以テ其大
ナル者トス
瀬戸ノ内海ハ無數ノ島嶼散點シ、甚タ風景ニ
富ミ、風浪ノ險極メテ稀ナリ、其部分ニ因リ、周
防灘、硫黃灘、燧灘、水島灘、播磨灘ノ稱アリ
地味 山陰道ハ一般ニ瘠薄ニシテ、僅ニ伯耆ノ
北部稍肥沃ナリ、山陽道ハ之ニ反シ、大概肥沃ニ
シテ、安藝及長門ノ東北部ノミ瘠薄ナリ

氣候 兩道ハ氣候大ニ異リ山陰ハ一般ニ濕潤
ニシテ雨量多ク冬季北風強シ山陽ハ氣候概シ
テ溫和ニシテ雨量極メテ少シ然レモ北海岸ナ
ル長門ハ其氣候大ニ山陰ニ類似セリ
都邑 廣島、萩、鳥取、岡山、松江、赤馬關、姫路ハ重ナ
ル都會ニシテ、其外、要港ハ西郷、宮津、舞鶴、米子、境
宇品、吳、尾ノ道、室津等ナリ
廣島(八、六) 太田川ノ河畔ニ位シ、中國第一ノ
大都會ニシテ、運輸便利ニシテ商業盛ナリ、第
五師團此所ニアリ、此市ノ南方八里ニ有名ナ
ル嚴島アリ、風景絶佳ニシテ日本三景ノ一ナ

萩(一、九) 日本海ニ臨ミ、毛利氏ノ舊城地ニシテ、往時ハ繁盛ナリシカ今ハ大ニ衰微セリ、鳥取(二、六) 千代川ニ臨ミ、山陰道ノ要路ニ當リ、市況盛ナリ
岡山(五、〇) 岡山川ノ沿岸ニ位シ、池田氏ノ舊城地ニシテ、市街繁盛ナリ
松江(三、五) 山陰第一ノ都會ニシテ、宍道湖ノ沿岸ニアリ、此市ノ西方、杵築ニ有名ナル出雲大社アリ
赤間關(三、三) 下ノ關又ハ馬關ト稱シ、九州ノ

門司ト相對シテ、瀬戸内海ト外洋ヲ結合スル要港ニシテ、船舶ノ往來絶ヘズ
姫路(二、六) 山陰山陽ノ要衝ニ位シ、百貨輻輳ス、此市ノ東方海岸ニ、須磨、明石ノ名勝アリ
交通 山陽道ハ海陸共ニ、交通極メテ便ナレトモ、山陰道ハ全ク之レニ反ス
山陽鐵道 神戸ヨリ姫路、岡山、福山、尾ノ道ヲ經テ、廣島ニ到ル
播但鐵道 姫路ヨリ寺前ニ到ル
日本郵船會社ノ氣船ハ馬關、尾ノ道ニ出入シ、大坂商船會社其他ノ氣船ハ各港ニ往來ス

邦制 五縣

鳥取縣 鳥取市 因幡、伯耆

島根縣 松江市 出雲、石見、隱岐

岡山縣 岡山市 美作、備前、備中

廣島縣 廣島市 備後、安藝

山口縣 山口町 周防、長門

物産

鹽ヲ以テ其最モ著名ナル者トス、其他、播

磨ノ龍野醬油、備後表、鞆ノ保命酒、安藝ノ牡蠣、岩

國縮等、之レニ次キ、金銀鐵ノ産出亦少カラズ

史上ノ古蹟 船上山、壇ノ浦、隱岐

南海道 六國

總論 本州ノ南部ナル紀伊及四國、淡路ノ二島

ヨリ成リ、面積一千五百六十一方里、人口凡三百

六十萬アリ

境界 北 瀬戸内海 南 太平洋

東 大平洋 西 豊後灘

地勢 紀伊ハ山岳國內ニ起伏シ、南部大和ニ接

スル所、特ニ高峻ニシテ人跡未ダ到ラザル所ア

リ、西南部僅ニ平低ナリ、四國ハ四國山脈、其中央

ヲ東西ニ連亘シ、土地高原性ヲ帶ビ、平野ハ阿波

ノ平野、讃岐ノ平野ヲ以テ、大ナル者トス
山河 四國ノ山岳ハ大概、其高サ三千尺乃至四
千尺ノ間ニアリテ、特ニ秀テタル高山少ナク、石
槌山(七、七八八尺)劍山(七、三九二尺)其最高ナル者
ナリ、紀伊ニ於テ著名ナル者ハ、高野山(二、六七三
尺)ナリ
紀伊ノ河流ハ東南西ニ流レ、四國ノ河流ハ中央
ノ山脈ニ發源シテ四方ニ流ル、吉野川(四一里)四
萬十川(三八里)紀ノ川(三三里)等本道ノ大河ナリ
石槌山ハ伊豫ニアリ、本道第一ノ高山ニシテ、
山頂眺望ニ富メリ

吉野川ハ四國第一ノ大河ニシテ四國三郎ノ
名アリ、四國山脈ノ南麓ニ發シ、北ニ折レテ山
脈ヲ横斷シ、更ニ東流シテ海ニ入ル、阿波ノ大
半ヲ灌溉ス、其河畔ノ沃野ハ、即チ阿波ノ平野
ナリ
温泉 伊豫ノ道後ハ其名高シ
道後ハ松山市ノ東十餘町ニアリ、古來有名ナ
ル温泉ニシテ浴客多シ
海岸 紀伊ノ沿岸ハ小屈曲多シト雖モ、有名ナ
ル紀州沖ハ風浪ノ險アリ、四國ノ南岸ハ、嶮峻ニ
シテ良港灣ナシ、然レモ他ノ三面ハ出入多ク、特

ニ北岸ハ無數ノ島嶼散點シ、良港乏カラズ、有名ナル鳴門ハ阿波ト淡路トノ間ニアリ
地味 紀伊ノ東北部ヲ除クノ外、各國ノ低地ハ大抵肥沃ナリ
氣候 山陽道ニ比スレバ一層溫暖ナレモ、紀伊、伊豫ノ山間ハ、寒氣甚シキ所ナキニアラズ
都邑 德島、和歌山、高松、高知、松山等ハ、本道ノ重ナル都會ニシテ、其他、要港ハ多度津、三津濱、宇和島、須崎等ナリ
德島(六、〇) 吉野川ノ河口ニ位シ、水陸運輸ノ便ニ富ミ、四國第一ノ大都會ナリ

和歌山(五、五) 紀ノ川ノ河口ニ位シ、紀州侯ノ舊城地ニシテ、近時綿ヲラチルノ製造ヲ以テ名アリ
高松(三、四) 瀬戸内海ニ臨ミ、交通便利ニシテ、商業盛ナリ
高知(三、三) 南海岸ノ中央ニ位シ、山内氏ノ舊城地ニシテ、市街繁榮ナリ
松山(三、三) 三津濱ノ東一里半ニ位シ、第五師團分營此所ニアリ
交通 沿岸氣船ノ往來繁ク、交通至便ナリ
讚岐鐵道 多度津ヨリ丸龜ヲ經テ琴平ニ至

ル

伊豫鐵道 高濱、三津濱ヨリ松山ニ到ル

邦制 五縣

和歌山縣 和歌山市 紀伊一市八郡

德島縣 德島市 阿波

愛媛縣 松山市 伊豫

高知縣 高知市 土佐

香川縣 高松市 讚岐

物産 砂糖ハ産額本邦第一ニ位ス、本道亦水産

ニ富ミ、土佐沖ノ鯨、土佐沖ノ鱈節其最タリ、其他、

阿波ノ藍玉、土佐ノ半紙、紀伊ノ木材、密柑、土佐ノ

珊瑚、別子ノ銅、市川ノ安質母尼等ヲ重ナル物産

トス

史上ノ古蹟 那智瀧、象頭山

西海道 十二國

總論 本邦ノ西南ニ位シ、九州及ヒ壹岐、對馬、琉

球ノ諸島ヨリナリ、面積二千六百七十七方里、人口

五百七十餘萬ヲ有ス

境界 北 立界灘、馬關海狹、周防灘 東 佐賀

關海狹、日向灘 南 太平洋 西 天草灘、東海

地勢 筑後川以北ノ山脈ハ東西ニ連リ、以南ノ

山脈ハ南北ニ亘リ、地勢頗ル錯雜シ、筑後川下流ノ近傍及ビ肥後ノ西北部、一般ニ低平ナリ
山河 本道ニハ著シキ高山ナシ、市房山(六、〇〇六尺)祖母岳(五、六七六尺)ヲ以テ其最高ナル者トス、其他霧島山、阿蘇山、英産山、温泉岳等、又有名ナリ
河流ハ四方ニ流レ其數多シ、然レモ長流ナシ、僅ニ筑後川(三五里)大淀川(二五里)球摩川(二〇里)ヲ以テ其大ナル者トス
霧島山ハ日向大隅ノ境ニ跨リ、東西二峯アリ、活火山ニシテ、噴煙絶ヘス、高サ四、四四四尺アリ

阿蘇山ハ高サ六千二百三十七尺アリ、熊本市ノ東方ニ位スル大火山ニシテ、其規模極メテ大ナリ
筑後川ハ九州第一ノ大河ニシテ筑紫二郎ト稱ス、水源ニアリ合流シテ西ニ流レ、有明洋ニ注グ、其流域ハ肥沃ナル平野ヲナセリ
温泉 其數極メテ多ク、中ニ就テ、肥前ノ古湯、武雄、小濱、豊後ノ別府、薩摩ノ櫻島、最モ名アリ
海岸 九州ノ東岸ハ屈折少ク、僅ニ豊後ニ二三ノ港灣アルノミ、西岸ヨリ南岸ハ之レニ反シ港

灣出入多ク、北ニ博多、唐津、伊萬里ノ三灣アリ西ニ大村灣、有明洋アリ南ニ鹿兒島灣アリ地味對馬ハ薄瘠ニシテ、豊後、大隅、薩摩ハ肥瘠相交リ、其他、大概肥沃ナリ、特ニ筑後川ノ平野ヲ以テ最トス氣候概シテ溫暖ニシテ南部特ニ著シ、然レモ、北海岸ノ地ハ、冬期北風甚シク寒氣強シ都邑長崎、熊本、鹿兒島、福岡、佐賀、久留米ハ其大ナル者ニシテ、要港ハ中津、門司、若松、博多、唐津、佐世保、伊萬里、三角等ナリ

長崎(六、四) 安政六年開港セル我國五港ノ一

ニシテ、其以前二百餘年間、既ニ支那阿蘭二國ノ通商場タリ、港ハ三方山ヲ環ラシ、港内水深ク碇舶ニ便ナリ熊本(五、六) 白川ニ臨ミ、加藤清正ノ築造セル著名ノ堅城市ノ中央ニアリテ、第六師團此所ニアリ、西南ノ役谷將軍固守セルノ故ヲ以テ、其名特ニ高シ鹿兒島(五、六) 鹿兒島灣ニ臨ミ、前面ニ櫻島ヲ控へ、風光ニ富ミ、市街繁華ナリ福岡(五、五) 博多灣頭ニ位シ、東那珂川ヲ隔テテ博多港ニ連ル、黒田氏ノ舊城地ニシテ、市街

繁昌シ商業盛ナリ

佐賀(二、八) 肥前ノ東北隅、平野ノ間ニ位シ、鍋

島氏ノ舊城地ニシテ、市街美麗ナラズト雖_レ

富豪多シ

久留米(二、六) 筑後川ノ中流ニ位シ、商業盛ニ

シテ、織物ノ名産アリ

交通

陸路ノ交通ハ西北部ヲ除ク外便ナラズ

ト雖_レ、沿岸ノ諸港氣船ノ往來繁ク、海路運輸ノ

便多シ

九州鐵道 門司ヨリ起リ、小倉博多久留米ヲ

經テ熊本ニ到リ、一線鳥巢ヨリ分岐シテ佐賀

ニ達ス

筑豊鐵道 若松港ヨリ折尾、直方ヲ經テ飯塚

ニ達シ、一線直方ヨリ分岐シテ金田ニ到ル

邦制 八縣

福岡縣 福岡市 筑前、筑後、豊前六郡

大分縣 大分町 豊後、豊前二郡

長崎縣 長崎市 壹岐對馬、肥前一市六郡

佐賀縣 佐賀市 肥前一市十郡

熊本縣 熊本市 肥後

宮崎縣 宮崎町 日向九郡

鹿兒島縣 鹿兒島市 大隅、薩摩、日向一郡

沖繩縣 那覇 琉球

物産 石炭ヲ以テ第一トス、牛馬ノ産亦多シ、其

他兩肥ノ米、肥前ノ伊萬里燒、薩摩燒、博多織、久留

米飛白、小倉織、薩摩、大隅ノ煙草、豐後、薩摩ノ琉球

表、五島錫、鯨、兩筑ノ生蠟、甘藷等ヲ名産トス

史上ノ古蹟 玉島川、名古屋、高千穗峯、肥前鷹

島

琉球 ハ九州ノ西南ニ並列スル五十有餘ノ島

嶼ヨリナリ、其中最大ナル者ヲ沖繩、宮古及ビ石

垣ノ三島トス、地勢ハ諸島大率、山岳丘陵多ク平

地少ク、海岸ハ暗礁多ク寄泊ノ場所ニ乏シ、氣候

ハ溫暖ニシテ霜雪降ラズ、夏期ハ酷熱ナルモ海

風涼シキヲ以テ割合ニ凌キ安シ、物産ハ砂糖、甘

藷、泡盛等ニシテ、人民ハ大抵甘藷ヲ常食トシ、又

蘇鐵ノ實ヲ食ス、風俗ハ農民ハ男女共ニ業ヲ勵

メ、士族商人ハ男逸シ女勞ス

那覇ハ本島第一ノ都會ニシテ、沖繩島ノ西南端

ニアリ、其ノ東、一里許ノ地ニ首里アリ、舊王城ノ

アル地ニシテ、人口二萬餘アリテ、第二ノ都會ナ

リ

北海道 十一國

總論 本邦ノ最北ニ位シ、蝦夷、及千島ヨリ成リ
 我國ノ最モ未開ナル地ナレトモ、原野多ク加フル
 ニ天産物ニ富ミ、所謂天賦ノ地ニシテ、國防上又
 實ニ北門ノ鎖鑰ナリ、面積五千〇五十七方里ア
 レトモ、其人口ハ僅カ三十萬ニ滿タズ
境界 北 オコツク海 東 根室海峽、大平洋
 南 大平洋、津輕海峽 西 日本海
地勢 石狩川ヨリ南苫小牧ニ到ル平野ノ西部
 ハ、山岳到ル所ニ起伏スレトモ土地險峻ナラズ、東
 部ハ中央ニテ樺太山系千島帶ノ火山脈ト交接
 スル所、地勢高峻ニシテ、川流多ク之レヨリ發源

シ、平野多ク、其大ナル者ヲ石狩ノ平野、十勝ノ平
 野トス
山河 高山ハ國ノ中央部ニ多シ、石狩岳(六、〇〇
 〇尺)十勝岳(七、〇〇〇尺)マダカリヌプリ(六、七〇
 〇尺)等ヲ以テ、其重ナル者トス
 大河長流ハ石狩以東ニ多シ、石狩川(一六七里)最
 大ニシテ、天鹽川(七〇里)十勝川(四四里)之レニ次
 ク
 石狩岳ハ石狩十勝ノ境ニ聳ヘ、本道第一ノ高
 山ナリ、有名ナル大瀑布此所ニアリ
 石狩川ハ本邦第一ノ長流ニシテ石狩岳ニ發

源シ、西南流シ、諸川ヲ合セ、石狩ニ到リテ海ニ入ル、運輸灌溉ノ便至テ大ナリ
湖沼 最大ナル者ヲ猿間湖(周回一八里)トス、楓蓮湖(一五里)之レニ次キ、其外、釧路湖、阿寒湖、網走湖、友笏湖等、大小四十餘アリ
海岸 石狩平野ノ東部ハ海岸單一ニシテ、東方、根室、厚岸ノ二灣ヲ除クノ外、海岸一モ港灣ナシ、西部ハ之レニ反シ港灣多ク、北海道ニ石狩、後志ノ二灣アリ、南海岸ニ箱館、噴火ノ二灣アリ
地味 未開ノ地多キヲ以テ詳知スベカラズト雖モ、沃野少カラズ、殊ニ石狩ノ平野ノ如キハ最

モ肥沃ナリ
氣候 本州ニ比スレバ遙カ寒冷ニシテ、上川ノ如キハ本邦最寒ノ地タリ、然レモ、夏期ハ割合ニ溫度高ク、日中他府縣ト大差ナシ
都邑 箱館、札幌、小樽、根室等其重ナル者ニシテ、其他、壽都、福山、室蘭等亦有名ナリ、要スルニ本道ハ人口稀少ナルヲ以テ大都少シ
箱館(五、七) 五港ノ一ニシテ、港ハ碇舶ニ便ナリ、本道貨物ノ集散地ニシテ、市街繁榮ナリ
札幌(二、五) 石狩ノ平野ノ西南部ニ位シ、豊平川ニ臨ミ、市街端正ニシテ北海道廳ノ所在地

ナリ

小樽(二、六) 石狩灣ニ臨ミ、西海岸ノ安全ナル

泊地ニシテ箱館ニ次グ要港ナリ

根室(一、二) 花咲半島ノ北側ニアリテ、本道東

北部ノ要港ナリ

交通 沿岸交通ノ便アレヒ、内地ハ道路未ダ完

カラズ

炭鑛鐵道 手宮ヨリ起リ、小樽、札幌ヲ經テ幌

内、都春別ノ炭鑛ニ到ル、一線岩見澤ヨリ分岐

シ、北ハ歌白内ニ達シ、南ハ室蘭ニ達ス

物産 石炭、水産物ヲ以テ其重ナル者トス、而シ

テ、水産物ノ主要ナル者ハ、魚鮑、鯡魚、鮭、昆布等ニ
シテ其他臘虎、膾肭獸、海豹、硫黃、木材、麻、砂糖等ヲ
本道ノ物産トス

千島諸島 根室ノ東北ニ位スル、國後島ヨリ

占守島ニ到ル間、東北ニ並行スル三十餘ノ島嶼

ヨリナリ、海岸ハ風浪荒ク、濃霧多ク、港灣ニ乏シ
ク、加フルニ寒氣強シ、然レモ漁業ノ利少カラズ

撰新 普通日本地理 終

撰新 普通日本地理 附錄

全國周圍及面積

島名	周圍	面積	百分比
全國	七〇二九 _里	二、四七九 _{方里} 四	一〇〇、〇〇
本州	一九五三	一、四四九二	五八、七七
北海道	五八三	五〇五七	二〇、四二
九州	八六一	二、三三二	一〇、五六
四國	四五二	一一五一	四、七六
佐度	五三	五六	〇、二三

畿内	二四九、〇二八	二、六六三	三四八四
淡路	三九	三五	〇、〇九
壹岐	三五	九	〇、一五
對馬	一八六	四四	〇、〇三
琉球諸島 <small>(五十五島數)</small>	三五一	一五七	〇、一八
千島諸島 <small>(三十二島數)</small>	六三三	一〇三二	〇、六三
小笠原諸島 <small>(十七島數)</small>	六一	四	四、一七
本邦人口	二四九、〇二八	四四、五	〇、〇一
面積	二、六六三	四四、五	〇、〇一
積	三四八四	四四、五	〇、〇一
方里	三四八四	四四、五	〇、〇一
付	三四八四	四四、五	〇、〇一

(一九)

東海	九二七、九〇二七	二、六六三	三四八四
東山	八五六、〇六二三	五、八二五	一三〇一
北陸	三九〇、〇五九五	一、六三四	二三八六
山陽	四〇八、五一六一	一、五七〇	二六〇二
山陰	一八三、二〇一七	一、一一〇	一六五二
南海	三七八、三六八七	一、五九八	二三六七
西海	六二二、八四一九	二、八二九	二二〇三
北海	二九、三七一四	六、〇九五	四八
合計	四〇四五、三四六一		一六三二

本邦建置

畿內 山城、大津、河內、和泉、攝津、伊勢、志摩、尾張、三河、遠江、駿河、甲斐、伊豆、相模、武藏、安房、上野、常陸、附小笠原、島、近江、美濃、飛騨、信濃、上野、常陸、陸奥、磐城、若狹、越前、加賀、能登、越中、越後、佐賀、能登、丹波、出雲、石見、隱岐、伯耆、美作、備前、備中、備後、備前、備中、紀伊、淡路、阿波、備前、備中、備後、備前、備中、筑前、筑後、肥前、肥後、肥前、肥後、筑前、筑後、大隅、薩摩、壹岐、對馬、附琉球、日向、渡島、後志、膽振、石狩、天鹽、日高、十勝、釧路、根室、北見、千島、附千島群島

本邦高山

山名	位置	高さ
富士山	駿河、甲斐	一二、四六七尺
鎗岳	飛騨、信濃	一一、六五二
穗高山	全上	一一、五四三
御岳	全上	一〇、五一一
乘鞍岳	全上	一〇、四五〇
白根山	甲斐	一〇、二二二
赤石山	信濃	一〇、一三五
駒ヶ岳	甲斐	九、九三四
大蓮華山	越中	九、八七一
蓮華山	信濃、越中	九、六八三

(五九)	山	高	邦	本						
白根山	赤蘿山	苗場山	御月山	駒ヶ嶽	惠那嶽	岩菅山	駒ヶ嶽	横手山	黒髮山	淺間山
信濃、上野	下野	全上	越後	岩代	美濃	全上	全上	信濃	下野	信濃
七〇二八	七〇五四	七〇七一	七〇七一	七二八七	七三五〇	七五二八	七七四三	七九八〇	八一四九	八一八三

錄附	理地本	日,通普	(四九)							
寶永山	立科山	金峯山	國師ヶ嶽	地藏ヶ嶽	四阿山	白山	前嶽	錫杖嶽	立山	八ヶ嶽
駿河	信濃	甲斐	甲斐、信濃、武藏	甲斐	信濃	加賀	信濃	信濃	越中	甲斐
八一八五	八三〇一	八五〇〇	八五〇四	八八〇六	八八五六	八九四七	九一〇八	九二四〇	九三七二	九六七六

赤安山	鳥居嶺	大鳥帽子岳	鳥海山	雲取山	經ヶ嶽	金勢嶺	燧岳	雁坂嶺	黑姬山	十文字嶺
岩代	信濃、上野	越後	羽後	武藏	信濃	下野、上野	岩代	甲斐	信濃	武藏、信濃
六、三八三	六、四三二	六、四二五	六、四六八	六、六一七	六、六二五	六、七八四	六、八一〇	六、八二〇	六、八七四	七、〇一四

朝草嶺	藏王嶽	磐梯山	東吾妻山	中吾妻山	旭嶽	飯豐山	栗生嶽	宮ノ浦嶽	大菩薩嶺	西吾妻山
岩代	磐城、羽前	岩代	全上	岩代、羽前	岩代	岩代、羽前、越後	屋久島	屋久島	甲斐	全上
五、四八二	五、五二〇	五、六五〇	六、〇〇八	六、〇六八	六、一〇〇	六、一六七	六、二五二	六、三四五	六、三五一	六、三八一

御神樂嶽	小野嶽	石鎚山	川桁山	小松山	赤崩山	遊樂部嶽	金北山
全上	全上	伊豫	岩代	日向	岩代	渡島	佐渡

本邦大河

四、四一〇	四、三六二	四、三五〇	四、三二八	四、一六五	四、一〇二	四、一〇〇	四、〇〇〇
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

高曾根山	天城山	大戸嶽	七森嶽	二岐嶽	霧島山	朝日山	荒目嶽	博士山	月山	積丹嶽
岩代	伊豆	全上	全上	岩代	日向	全上	全上	岩代	羽前	後志

四、四九五	四、七〇〇	四、七三三	四、七八〇	四、八〇二	四、八一六	五、〇三三	五、一四〇	五、一四六	五、三四〇	五、四〇〇
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

(一〇一) 河 大 邦 本

富士川	西大川 (備前)	筑波川	大野川 (豊後)	宮川	東大川 (備前)	楫斐川	五箇瀬川	能代川	那賀川 (阿波)	大淀川
三八	三七	三五	三四	三三	三一	三〇	三〇	三〇	二八	二五

多摩川	釧路川	熊野川	安居川	相摸川	紀ノ川	御物川	一瀬川	大川 備中	矢作川	馬淵川
三八	三七	三五	三三	三一	三〇	三〇	三〇	二八	二八	二五

錄 附 理 地 本 日 通 普 (〇〇一)

石狩川	北上川	天鹽川	木曾川	天龍川	日高川	阿武隈川	大井川	十勝川	吉野川
長サ 一六七里	七六	七〇	六五	六〇	五五	五〇	四六	四四	四一

信濃川	利根川	荒川 武藏	最上川	射水川	神通川	江川	川内川	那珂川 常陸	阿賀川
長サ 一〇〇里	七〇	七〇	六二	五八	五二	五〇	四六	四二	四〇

球摩川

二四

黑部川

二〇

本邦湖沼 (周圍十里以上)

名稱	周圍	名稱	周圍
琵琶湖 (近江)	七三 <small>里</small>	霞浦常陸	三六 <small>里</small>
猿間湖 (北見)	一八	猪苗代湖岩代	一六
中海湖 (出雲)	一六	八郎潟羽後	一五
楓蓮湖 (根室)	一五	小河原湖陸奥	一三
尖道湖 (出雲)	一三	印旛沼下總	一二
十和田湖 (陸奥)	一〇	洞翁湖膽振	一〇

各地方溫度 (明治二十三年、攝氏寒暖計)

地名	最高極度	最低極度	平均
鹿兒島	三三 <small>度</small> 、九	零點以下二 <small>度</small> 、九	一七 <small>度</small> 、九
宮島	三四、六	三、三	一七、八
高知	三三、七	三、七	一六、七
和歌山	三四、四	二、四	一六、三
大分	三三、五	二、三	一六、二
廣島	三四、五	三、一	一五、七
松山	三三、六	三、五	一五、五
大坂	三五、四	三、四	一六、一

(五〇一) 度 温 方 地 各

青	宮	石	福	秋	山	新	長	伏	金	銚
森	古	卷	島	田	形	瀉	野	木	澤	子
三三、四	三三、一	三一、六	三五、六	三三、二	三四、〇	三五、七	三四、二	三三、七	三三、三	三三、四
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
一四、七	一一、五	八、六	一二、二	一五、一	一一、〇	三、六	一一、九	四、四	四、三	三、三
一〇、四	一一、五	一二、六	一二、九	一一、七	一一、七	一四、〇	一二、三	一四、三	一四、五	一六、六

錄 附 理 地 本 日 通 普 (四〇一)

東	沼	濱	岐	津	境	赤	嚴	福	長	京	
京	津	松	阜			間	關	原	岡	崎	都
三三、九	三二、五	三四、九	三六、三	三五、一	三三、七	三二、四	三三、四	三六、四	三四、五	三五、六	
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	
五、八	四、七	二、二	五、九	五、七	一、七	〇、二	四、四	三、七	二、〇	六、四	
一五、〇	一六、二	一六、三	一五、七	一五、五	一五、三	一五、九	一五、六	一五、八	一七、一	一五、二	

函	壽	札	上	宗	網	根	釧	襟
館	都	幌	川	谷	走	室	路	裳
二八、五	三〇、二	三三、二	三三、九	二九、四	三三、一	二八、一	三〇、三	二九、六
全	全	全	全	全	全	全	全	全
一七、二	一一、七	一三、四	三三、四	一四、四	二二、五	一六、七	二六、九	一二、五
九、六	九、四	八、三	六、三	六、四	六、七	七、〇	六、二	八、四

各地方雨雪量 (明治二十三年)

地名	鹿兒島	宮崎	高知	和歌山	大分	廣島	松山	大坂	京都	長崎
總量	二、一六七、四	二、九〇一、〇	四、一五六、九	二、〇一四、一	二、一六九、六	二、一〇七、九	一、七四五、三	一、六三八、三	二、〇一六、四	一、九八九、九
二十四時間最多	八三、九	一九九、一	二九三、一	一八二、九	一三三、三	九四、二	八〇、六	九五、四	九八、五	一一一、二

金 銚 東 沼 濱 岐 津 境 赤 嚴 福
間
澤 子 京 津 松 阜 關 原 岡

一、九三〇、八
二、七二七、五
一、七八六、七
二、〇九四、六
二、一三四、二
二、四七五、五
二、四八八、二
二、六〇〇、七
一、九五八、二
二、六二三、七
二、五八八、三

一、二八、八
一、二五、七
一、二〇、八
九二、四
一、六四、八
一〇一、二
九〇、一
一、二一、七
一、二三、八
六九、四
一、二〇、九

壽 函 青 宮 石 福 秋 山 新 長 伏
都 館 森 古 卷 島 田 形 瀉 野 木

二、〇二九、六
一、〇五九、〇
一、七八四、〇
一、四二九、〇
一、九七一、七
一、六二一、三
一、六六三、三
二、〇四九、四
一、四五〇、六
一、三三三、六
一、三六八、三

八九、七
六五、〇
五五、九
八六、八
九一、五
六六、七
八三、一
一一六、三
四四、七
七六、三
七六、二

札	上	宗	網	根	釧	襟	札
幌	川	谷	走	室	路	裳	幌
一、二〇〇、五	一、一八九、二	五五三、六	六七三、三	一、一〇〇、四	九六二、〇	一、三〇四、三	一〇六、三
							七五、二
							四三、〇
							二九、二
							五〇、九
							四八、四
							八六、四

東京及各地方時刻ノ差異

札	幌	仙
幌	臺	臺
全	全	全
午後零時六分三十秒	午後零時四分二十八秒	午後零時四分二十八秒

函	新	名	京	大	兵	廣	熊	長	那
館	潟	古	都	坂	庫	島	本	崎	那
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	午前十一時五十七分九秒	全	全	全	全	全	全	全	全
零時三分五十二秒	十一時四十八分三十二秒	全	全	全	全	全	全	全	全
	十一時四十三分五十九秒	全	全	全	全	全	全	全	全
	十一時四十二分五十四秒	全	全	全	全	全	全	全	全
	十一時四十一分三十一秒	全	全	全	全	全	全	全	全
	十一時三十分四十七秒	全	全	全	全	全	全	全	全
	十一時二十三分四十七秒	全	全	全	全	全	全	全	全
	十一時二十分二十八秒	全	全	全	全	全	全	全	全
	十一時十一分四十秒	全	全	全	全	全	全	全	全

東京ヨリ廳府縣在地ニ至ル里程

普通通日本地理附錄 (二一一)		廳府縣名	經過地名要	國道里程
北海	道	盛岡	秋田	二七五 <small>里</small> 、一四 <small>町</small> 、五八 <small>間</small> 、三八八、〇一、二八、三
京	都	桑名	桑名	一三〇、三三三、二一、一
大坂	坂	桑名	桑名	一四三、二〇、一五、一
神奈川	品川	品川	品川	八、一五、五四、一
兵庫	庫	桑名	桑名	一四九、二〇、一六、一
長崎	崎	岡山	岡山	三四四、三〇、四三、一
新潟	潟	直津	直津	一〇九、二七、一、一、五
埼玉	玉	板橋	板橋	六、〇三、二〇、一

(三一一) 東京ヨリ廳府縣在地ニ至ル里程		
群馬	伊勢崎	二八、〇九、五八、五
千葉	市川	一〇、〇七、三七、五
茨城	土浦	二九、三一、二三、一
栃木	千住	二七、三五、二三、一
奈良	六地藏	一四〇、五三、一五、二
三重	靜岡	一二二、二〇、二九、一
愛知	靜岡	九四、三一、〇八、四
靜岡	箱根	四六、一三、一八、
山梨	八王子	三六、〇七、二六、三
滋賀	桑名	一二八、〇七、三六、三
岐阜	名古屋	一〇四、一六、一七、三

佐賀	熊本	宮崎	鹿兒島	沖繩
小倉	久留米	大分	熊本	熊本
三二三、二九、一五	三二六、一八、四〇、四	三六七、二三、三九、三	三八〇、二八、〇五、一	五六六、三〇、〇五、一

內國諸港間航路里程

自橫濱至橫須賀	全 至浦和	全 至熱海	全 至下田
十二海里	十七海里	五十四海里	七十四海里

全 至清水	全 至青森	全 至半田	全 至四日市	全 至石濱	全 至荻ノ濱	全 至神戸	全 至釜石	全 至山田	全 至宮古	全 至八戸
百十三海里	百六十二海里	百九十一海里	二百海里	二百八十三海里	二百八十六海里	三百四十七海里	三百五十三海里	三百六十海里	三百七十七海里	四百三十六海里

(九一) 程里路航間港諸國內

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
至大分	至佐賀關	至清水(土佐)	至長濱	至廣島	至須崎	至三津	至高知	至笠岡	至今治	至玉島
二百十二海里	二百〇二海里	百七十六海里	百六十五海里	百五十五海里	百五十二海里	百四十七海里	百四十二海里	百二十九海里	百二十海里	百十四海里

錄附理地本日通普 (八一)

全	全	全	全	自	全	全	全	全	全	全	自
至尾ノ道	至田ノ口	至多度津	至岡山	自神戶至德島	至那覇	至新潟	至長崎	至下ノ關	至鹿兒島	至函館	自橫濱至函館
百〇八海里	八十三海里	八十二海里	六十五海里	五十一海里	千〇三十五海里	七百三十八海里	七百〇七海里	五百六十六海里	五百六十五海里	五百二十九海里	五百二十九海里

(一二一) 程里路航間港諸國內

全	全	全	自函館	全	全	全	全	全	全	全
至森	至大湊	至野邊地	至青森	至鹿兒島	至竹敷	至嚴原	至博多	至大川(筑後)	至玉ノ浦(五島)	至百貫
七十六海里	六十七海里	六十三海里	五十九海里	百六十二海里	百二十一海里	百〇六海里	九十六海里	九十二海里	八十三海里	七十二海里

錄附理地本日通普 (〇二一)

全	自長崎	全	全	全	全	全	全	全	全	自神戶
至島原	至福江(五島)	至伊萬里	至呼子	至唐津	至博多	至馬關	至宇和島	至八幡濱	至別府	至三田尻
六十六海里	五十五海里	三百五十五海里	三百三十三海里	三百二十二海里	二百九十五海里	二百四十海里	二百二十二海里	二百十六海里	二百十四海里	二百十三海里

(三二一) 程里路航間港諸國內

全	全	全	全	全	全	自馬關	全	全	全	全
至境	至長崎	至佐世保	至伊萬里	至唐津	至呼子	至博多	至馬關	至敦賀	至伏木	至酒田
二百〇三海里	百四十二海里	百二十一海里	九十九海里	七十二海里	七十一海里	六十海里	四百九十六海里	二百三十海里	百二十二海里	六十八海里

錄附理地本日通普 (二二一)

自新瀉	全	全	全	全	全	全	自東京	全	全	自函館
至直江津	至父島二見港	至檜立	至波浮	至新島浦	至浦賀	至橫須賀	至橫濱	至根室	至酒田	至室蘭
六十三海里	五百三十一海里	百六十五海里	七十海里	六十八海里	三十海里	二十五海里	十九海里	二百九十五海里	百十九海里	七十九海里

錄附理地本日通普 (四二一)

全	自	全	自	全	全	全	全	全	全	自
至廣島	三津至上ノ關	至岡山	多度津至尾ノ道	至小樽	至函館	至土崎	至酒田	至伏木	至直江津	馬關至敦賀
三十一海里	三十海里	三十一海里	三十海里	八百二十二海里	六百八十九海里	五百八十七海里	五百四十七海里	四百六十三海里	四百五十三海里	三百二十七海里

(五二一) 程里路航間港諸國內

全	全	全	全	全	自	全	全	自	全	全
至飾磨	至洲本	至高砂	至志築	至假屋	兵庫至明石	至石垣	至那霸	鹿兒島至名瀧	至馬關	至三田尻
三十二海里	二十七海里	二十四海里	二十一海里	十四海里	十二海里	六百十五海里	三百七十三海里	二百〇二海里	九十二海里	五十九海里

自兵庫至網干	三十四海里
全 至室津	四十海里
全 至坂越	四十四海里
全 至德島	六十二海里

外國諸港ニ至ル航路里程

橫濱ヨリ香港迄	千三百五十六海里
全 柴棍迄	二千二百四十九海里
全 新嘉坡迄	二千八百六十三海里
全 錫蘭迄	四千三百七十三海里
全 亞丁迄	六千五百〇七海里

全 蘇士迄	七千八百十五海里
全 伊國那不兒迄	九千〇三十二海里
全 佛國馬耳塞迄	九千五百二十八海里
全 布哇迄	三千二百四十三海里
全 桑港迄	三千九百十二海里
全 巴拿馬ヲ經紐育迄	八千九百二十四海里
全 濠洲麥普尼迄	四千二百二十九海里
長崎ヨリ上海迄	四百三十七海里
全 芝罘迄	四百九十二海里
全 天津迄	六百六十三海里
全 釜山浦迄	百六十二海里

全 仁川迄 四百五十八海里
 全 元山津迄 四百六十海里
 全 浦潮斯德迄 六百五十五海里
 (備考)一海里ハ十六町九分七厘五毛

陸軍師管區

師團	名稱	司令部所在地	警備隊所在地
第一	東京	第一東	關八州甲斐信濃豆南諸島
第二	仙臺	第二仙	奧羽七州越後
第三	青森	第三青	北海道中及北ノ地
第四	名古屋	第四名	東海及西區濃飛
第五	名古屋	第五名	及北ノ地
第六	金澤	第六金	
第七	大坂	第七大	大島小笠原島
第八	姫路	第八姫	佐渡
第九	廣島	第九廣	
第十	松山	第十松	
第十一	熊本	第十一小	
第十二	小倉	第十二小	

海軍區

海軍區	鎮守府所在地	管轄
第一海軍區	相摸橫須賀	陸中國南九戸北閉伊郡境ヨリ紀伊國南牟呂、東牟呂郡境ニ至ルノ海岸海面及ヒ小笠原島ノ海岸海面
第二海軍區	安藝吳	紀伊南牟呂東牟呂郡境ヨリ西ハ石見長門ノ國境ニ至リ又筑前豊前ノ境ヨリ九州東海岸ニ沿ヒ日向大隅國境ニ至ルノ海岸海面及ヒ四國ノ海岸海面並ニ内海
第三海軍區	肥前佐世保	筑豐國境以西九州西海岸ニ沿ヒ大隅日向國境ニ至ルノ海岸海面及ヒ壹岐對馬琉球諸島ノ海岸海面

伯耆備前以東近江伊勢
 大和紀伊以西ノ地
 伯備以西ノ中國及ヒ四國
 九州一圓
 對馬琉球
 北海道一圓

第四海軍區 丹後(未設) 舞鶴
石見長門國境ヨリ羽後陸奥國境ニ至ル海岸海面及ヒ隱岐佐渡ノ海岸海面
第五海軍區 膽振(未設) 室蘭
北海道陸奥及ヒ陸中北九戸南九戸兩郡ノ海岸海面

新撰 普通日本地理附錄終

明治二十八年四月廿九日印刷
明治二十八年五月六日發行

(定價金貳拾五錢)

版權所有

編者

東京市神田區淡路町二丁目四番地
東京府士族

服部 拾太郎

發行者

福岡縣福岡市博多中島町九番地

山田 安貞

印刷者

東京市京橋區弓町二十三番地

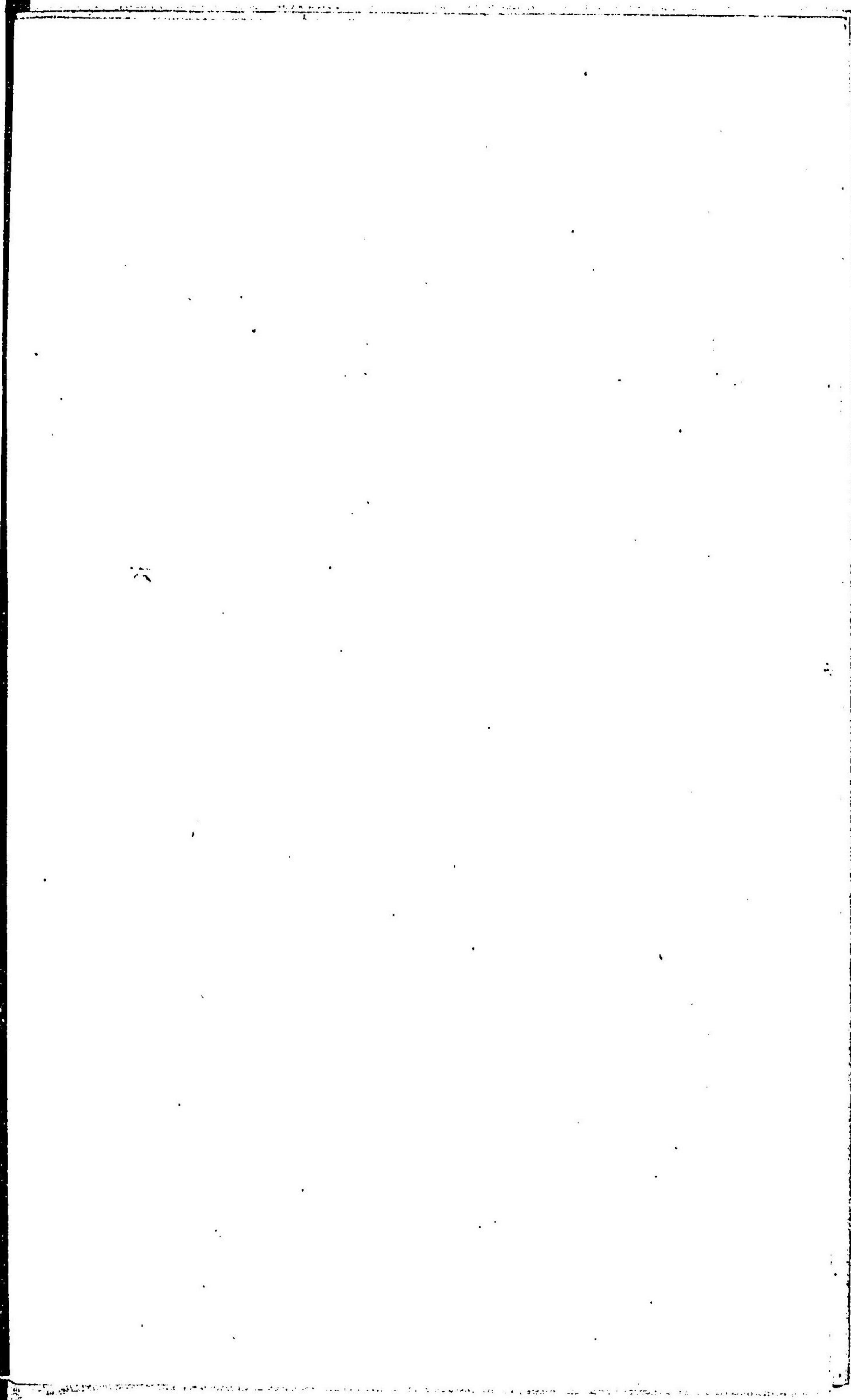
橘 磯吉

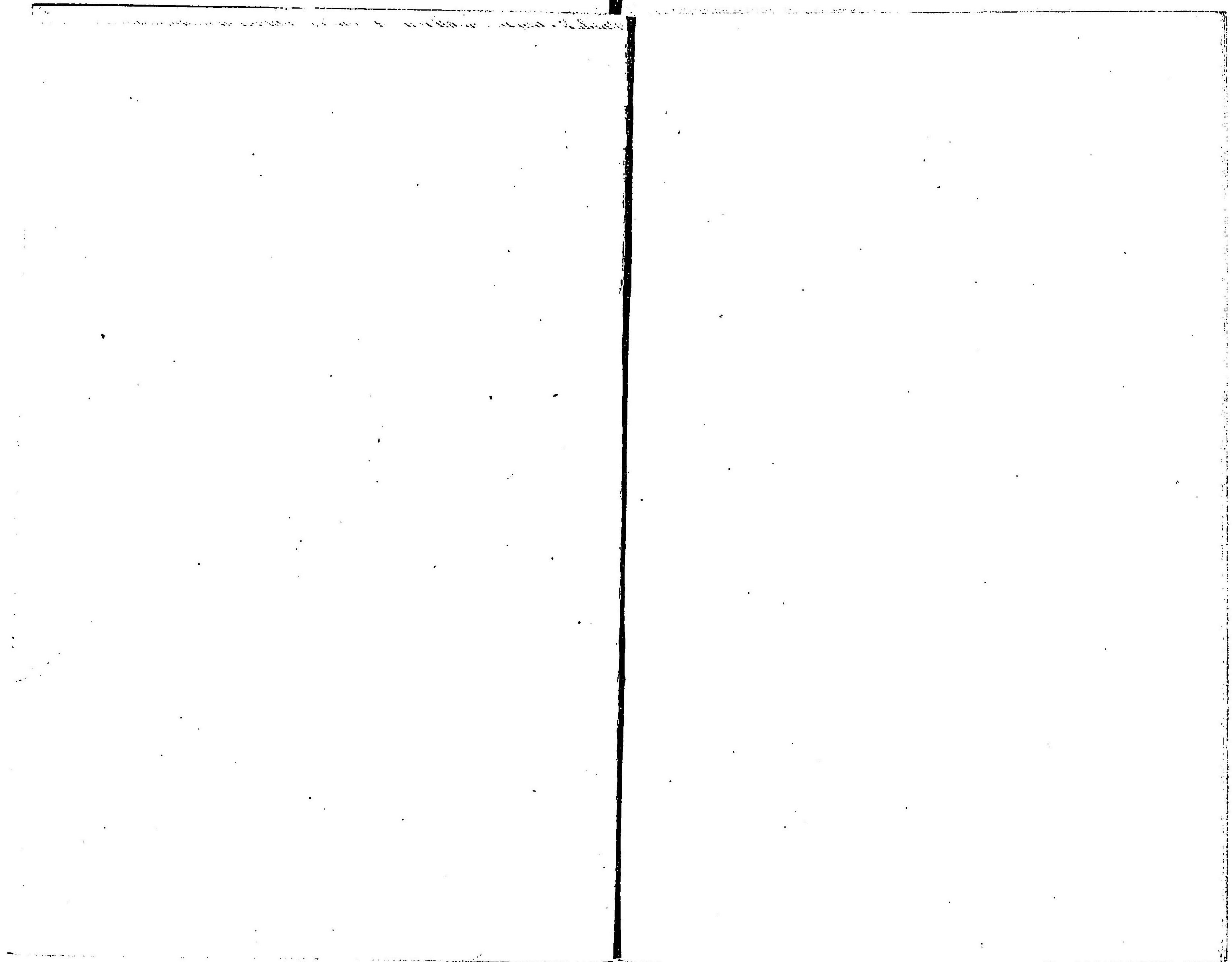
印刷所

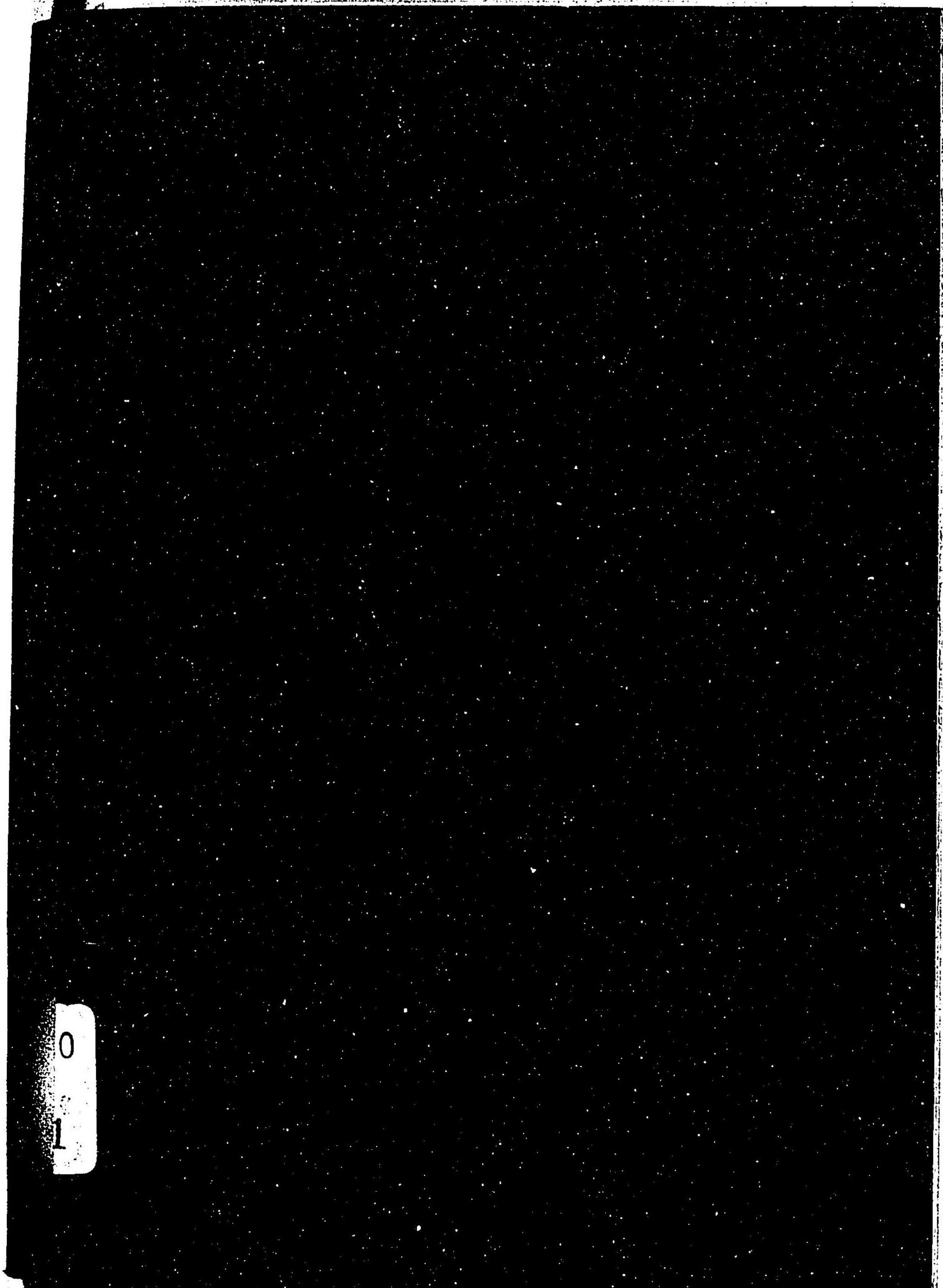
東京市京橋區弓町二十四番地

三協合資會社

特約 大阪市東區安土町四丁目 積善館本店
販賣 福岡市博多中島町 積善館第一支店
各店 廣島市鹽屋町 積善館第二支店







0

1

166
634

普通日本地理

023105-000-6

特20-421

普通日本地理(新撰)

服部 拾太郎/編

M28

ADB-1113



